

障害者の文化・芸術活動に関するアンケート (集計結果)

2022年(令和4年)5月発行

社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団
障害者スポーツ文化センターラポール上大岡

障害者の文化・芸術活動に関するアンケート

今後の障害者スポーツ文化センター「横浜ラポール」及び「ラポール上大岡」における文化活動の取り組みの参考とするため、横浜市内の障害者施設をはじめ、当事者団体、市民利用施設に対し、障害者の文化・芸術活動の実施状況に関するアンケートを実施した。

調査期間 : 2021年（令和3年）7月～2022年（令和4年）2月

実施者 : 障害者スポーツ文化センターラポール上大岡

実施対象及び回収率 : 以下のとおり

No.	団体（施設）	発送数	回収数	回収率
1	障害児・者団体	24	4	16.7%
2	障害者地域活動ホーム	56	28	50.0%
3	多機能型拠点	3	1	33.3%
4	精神障害者生活支援センター	18	10	55.6%
5	地域活動支援センター	151	87	57.6%
6	障害者グループホーム	709	77	10.9%
7	障害者支援施設	29	4	13.8%
8	障害福祉サービス事業所	474	199	42.0%
9	福祉型障害児入所施設	5	0	0.0%
10	医療型障害児入所施設	4	0	0.0%
11	障害児地域訓練会	51	19	37.3%
12	地域ケアプラザ	130	58	44.6%
13	地域子育て支援拠点	24	6	25.0%
14	地区センター	81	39	48.1%
15	市内文化施設（市民利用施設）	32	15	46.9%
計		1,791	547	30.5%

施設の紹介 :

No.	団体（施設）	備考
1	障害児・者団体	横浜市身体障害者団体連合会、横浜市心身障害児者を守る会連盟、横浜市精神障害者家族連合会を中心に発送。
2	障害者地域活動ホーム	在宅の障害児・者及びその家族等の地域生活を支援する拠点施設として、横浜市が独自に設置している。日中活動事業（デイサービス事業、障害福祉サービス事業）のほか、生活支援事業（一時ケア、ショートステイ、余暇活動支援、おもちゃ文庫）及び相談支援事業などを実施。
3	多機能型拠点	医療的ケアを必要とする重症心身障害児者等やその家族の地域での生活を支援するために、必要なサービスを一体的に提供する機能を持つ拠点。短期入所、日中一時支援、相談支援機能のほか、診療所を併設。また、生活介護（北西部のみ）及び、訪問看護、居宅介護等も実施。

No.	団 体 （施設）	備 考
4	精神障害者生活支援センター	地域で生活する精神障害者の社会復帰、自立及び社会参加を促進することを目的として、横浜市では各区に1館設置。日常生活相談、必要な情報の提供、食事サービス、入浴サービス、洗濯サービスの提供、各センターによる自主事業（レク・イベント等）、地域交流活動などを行っている。
5	地域活動支援センター	在宅の障害者が、登録事業所に通所して地域において自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、創作的活動・生産活動等のサービスを受けることができる。
6	障害者グループホーム	主に夜間において、共同生活を営む住居で相談、入浴、排泄または食事の介護、その他の日常生活上の援助を行う。
7	障害者支援施設	施設に入所する障害者に対し、入浴や排泄、食事などの介護、また、生活などに関する相談や助言、その他の必要な日常生活上の支援（施設入所支援、生活介護、自立訓練、就労移行支援など）を行う施設。
8	障害福祉サービス事業所	就労支援、生活介護を主な目的とした事業所。障害者自立支援法では、「生活介護」、「自立訓練」、「就労移行支援」、「就労継続支援」、「地域活動支援センター」の5種類の日中活動の場がある。
9	福祉型障害児入所施設	主に知的障害児を中心とした入所施設、短期入所、日中一時支援の施設。
10	医療型障害児入所施設	主に肢体不自由児を中心とした入所施設、短期入所、日中一時支援の施設。
11	障害児地域訓練会	障害児の保護者等が自主的に組織し、地域において障害児を対象に生活指導や機能回復訓練などを実施。
12	地域ケアプラザ	高齢者、子ども、障害のある人など誰もが地域で安心して暮らせるよう、身近な福祉・保健の拠点としてさまざまな取組を行っている横浜市独自の施設。
13	地域子育て支援拠点	就学前の子どもとその保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供などを行う子育て支援の拠点。
14	地区センター	地域の市民が自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、スポーツ、レクリエーション、クラブ活動等を通じて相互の交流を深めることを目的とする施設。子どもから高齢者まで、どなたでも気軽に利用できる。
15	市内文化施設 (市民利用施設)	各区民文化センターを始め、横浜市内における文化施設（市民利用施設）。

「アンケート内容」

いつもお世話になっております。下記、アンケートへのご協力をお願いいたします。皆さまからの回答をデータベース化し、横浜市内における障害者の方々の文化・芸術活動への参加状況の把握と、併せて、文化・芸術活動に関心のある障害者の方々に積極的に情報を発信していきたいと思っております。御多忙中恐縮ですが、趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

※アンケート回収後、施設名・団体名は公表いたしません。

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール・ラポール上大岡

事業所名 (団体名)	
住 所	
ご記入者	

※以下、該当する番号に○印付け、必要に応じてご記入をお願いいたします。

【質問 1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

1. ある 2. ない

● 「ない」と回答された場合、その理由を教えてください

※「質問 1」で「ある」と答えた方は、「質問 2 から質問 1 1」にお答えください。

「ない」と答えた方は「質問 1 2」にお進みください。

【質問 2】

それはどのような内容ですか。(複数回答可)

1. 絵画 2. 版画 3. 彫刻 4. 書 5. 音楽 6. ダンス 7. 演劇
8. 伝統芸能 9. 写真 10. 映像 11. 手工芸 12. 陶芸 13. その他 ()

【質問 3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。(複数回答可)

1. 施設・団体の職員 2. 外部講師 3. ボランティア 4. その他 ()

● 指導者が外部講師の場合にお伺いします。外部講師(個人・団体)の名称を伝えられる範囲で結構ですので教えてください。

【質問 4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

1. 毎日 2. 週 1 回程度 3. 月 1 回程度 4. 3 カ月に 1 回程度 5. 半年に 1 回程度 6. 1 年に 1 回程度

【質問 5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

1. ある 2. ない

● 「1. ある」の回答の場合、その場所はどこですか。

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。(複数回答可)

1. 絵画 2. 版画 3. 彫刻 4. 書 5. 音楽 6. ダンス 7. 演劇
8. 伝統芸能 9. 写真 10. 映像 11. 手工芸 12. 陶芸 13. その他 ()

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。(複数回答可)

1. 絵画 2. 版画 3. 彫刻 4. 書 5. 音楽 6. ダンス 7. 演劇
8. 伝統芸能 9. 写真 10. 映像 11. 手工芸 12. 陶芸 13. その他 ()

● 好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえるなら、その派遣を希望しますか。

1. 希望する 2. 希望しない

● 「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

【質問9】

貴施設・団体で実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

1. 施設・団体利用者、家族等のみ 2. 障害者で、以下の条件で募集している。

● 条件の内容は何ですか

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者(個人・団体)をご存じでしたら教えてください。(指導者情報も集めています。一度、当センターから連絡させていただきたいと思っております。)

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

● 作品内容などお書きください。後日、改めて施設・団体の方へご連絡させていただきます。

【質問12】※「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。

今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

1. ある 2. ない

※「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。(あくまでも予定で結構です。複数回答可)

1. 絵画 2. 版画 3. 彫刻 4. 書 5. 音楽 6. ダンス 7. 演劇
8. 伝統芸能 9. 写真 10. 映像 11. 手工芸 12. 陶芸 13. その他 ()

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

このアンケート用紙を同封の封筒にて、切手を貼らずに投函してください。

なお、令和4年2月28日(月)を〆切とさせていただきます。

また、googleフォームからの回答も可能ですのでご利用ください。 <https://forms.gle/mCCXQFAQm7KjP6Ax7>



(このアンケートに関するお問合せは以下までお願いいたします。)

〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー7階

障害者スポーツ文化センター「ラポール上大岡」

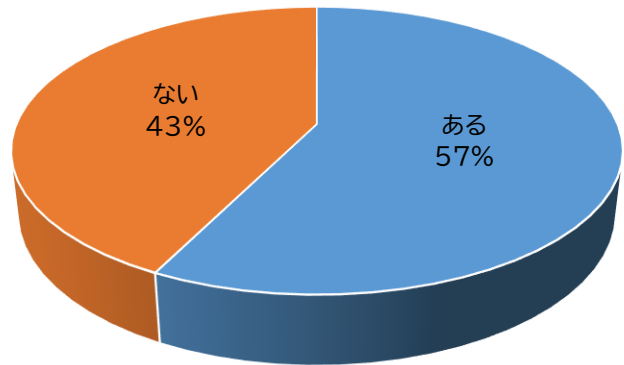
管理運営課 戸村、坂本、永野 電話 840-2151

回収結果(全体)

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	314	57.4%
2. ない	233	42.6%



【質問1-2】

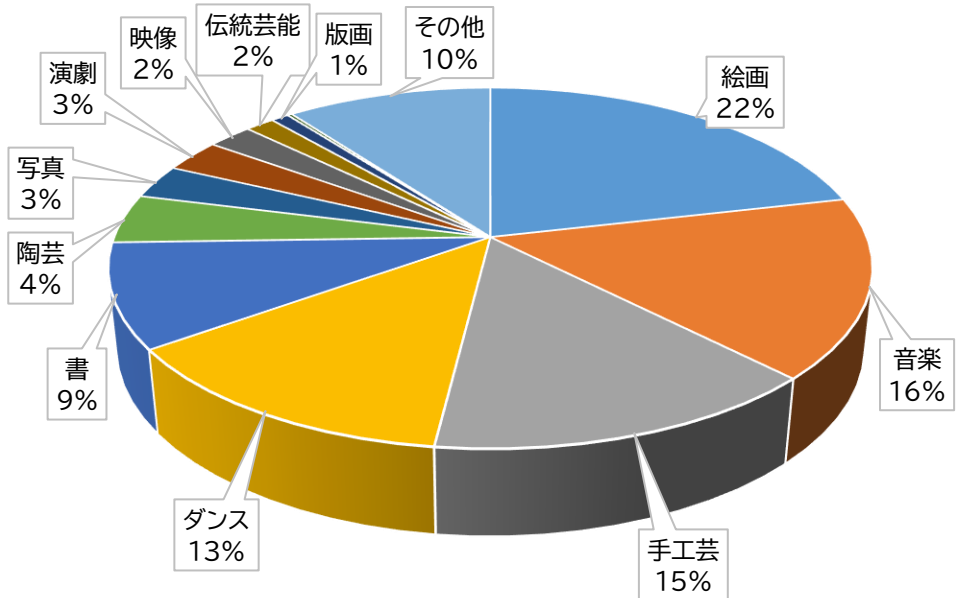
「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

回答内容は、別途、添付資料参照。

【質問2】

それはどのような内容ですか。(複数回答可)

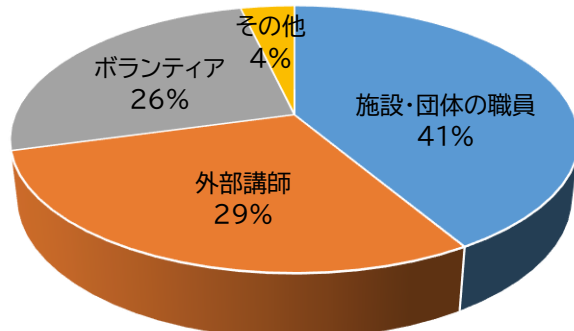
	回答数	割合
1. 絵画	190	21.4%
2. 版画	8	0.9%
3. 彫刻	2	0.2%
4. 書	83	9.4%
5. 音楽	143	16.1%
6. ダンス	117	13.2%
7. 演劇	26	2.9%
8. 伝統芸能	13	1.5%
9. 写真	27	3.0%
10. 映像	20	2.3%
11. 手工芸	128	14.4%
12. 陶芸	39	4.4%
13. その他	91	10.3%



【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。(複数回答可)

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	204	41.5%
2. 外部講師	144	29.3%
3. ボランティア	126	25.6%
4. その他	18	3.7%

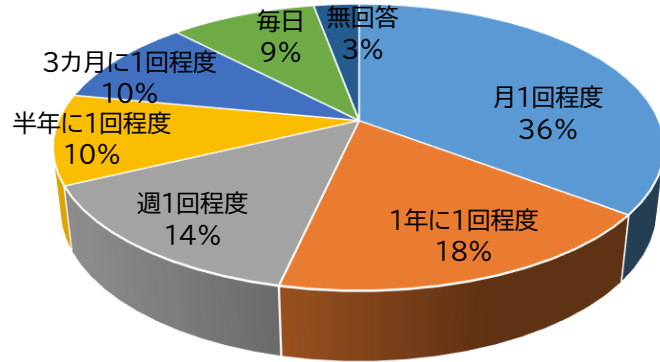


回収結果(全体)

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

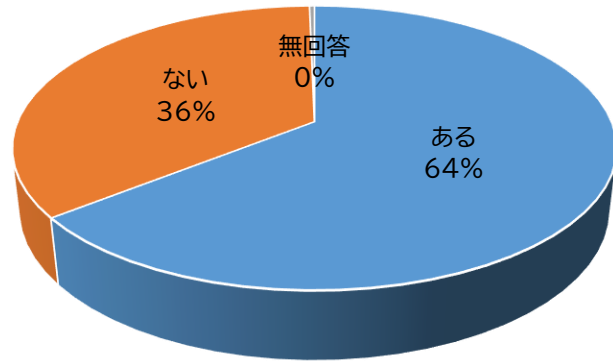
	回答数	割合
1. 毎日	29	9.2%
2. 週1回程度	45	14.3%
3. 月1回程度	111	35.4%
4. 3か月に1回程度	31	9.9%
5. 半年に1回程度	32	10.2%
6. 1年に1回程度	57	18.2%
無回答	9	2.9%



【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	202	64.3%
2. ない	111	35.4%
無回答	1	0.3%



【質問5-2】

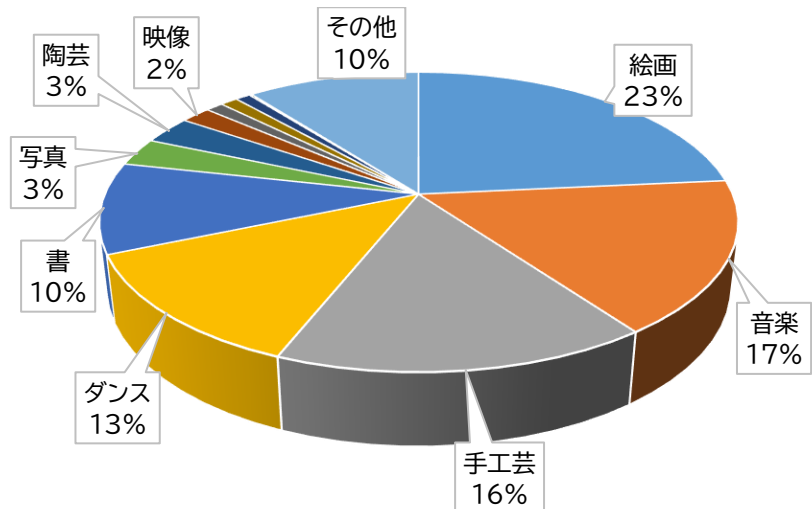
「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

回答内容は、別途、添付資料参照。

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。(複数回答可)

	回答数	割合
1. 絵画	155	23.5%
2. 版画	6	0.9%
3. 彫刻	1	0.2%
4. 書	65	9.8%
5. 音楽	109	16.5%
6. ダンス	83	12.6%
7. 演劇	7	1.1%
8. 伝統芸能	7	1.1%
9. 写真	20	3.0%
10. 映像	12	1.8%
11. 手工芸	106	16.1%
12. 陶芸	20	3.0%
13. その他	69	10.5%

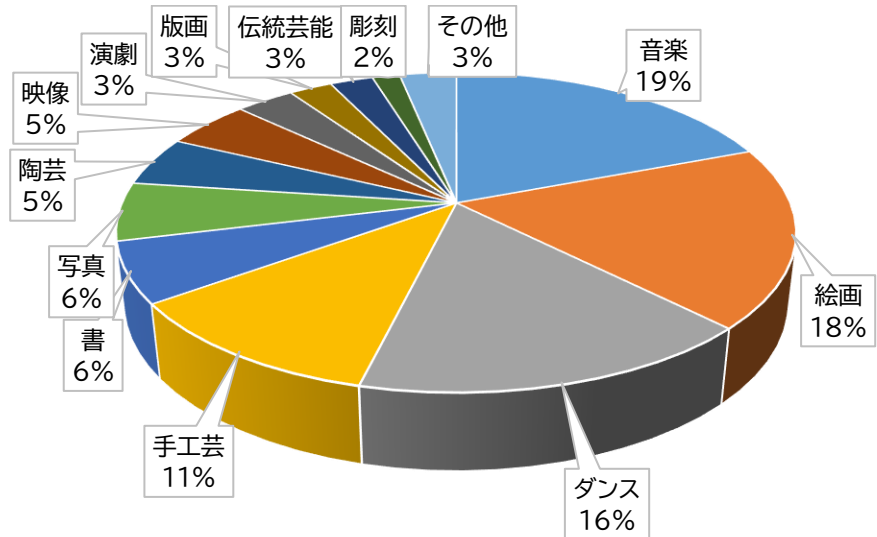


回収結果(全体)

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	164	18.2%
2. 版画	22	2.4%
3. 彫刻	14	1.6%
4. 書	55	6.1%
5. 音楽	173	19.2%
6. ダンス	147	16.4%
7. 演劇	30	3.3%
8. 伝統芸能	22	2.4%
9. 写真	53	5.9%
10. 映像	44	4.9%
11. 手工芸	101	11.2%
12. 陶芸	45	5.0%
13. その他	29	3.2%



【質問7-2】

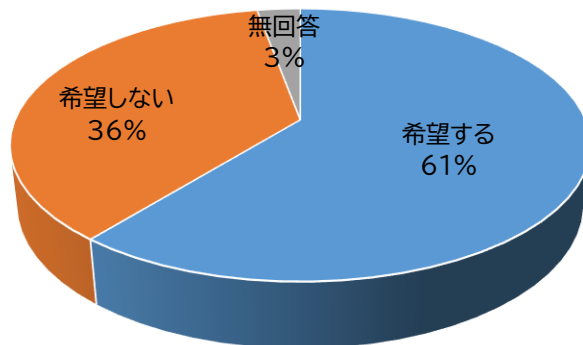
好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

回答内容は、別途、添付資料参照。

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	191	60.8%
2. 希望しない	114	36.6%
無回答	9	2.5%



【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

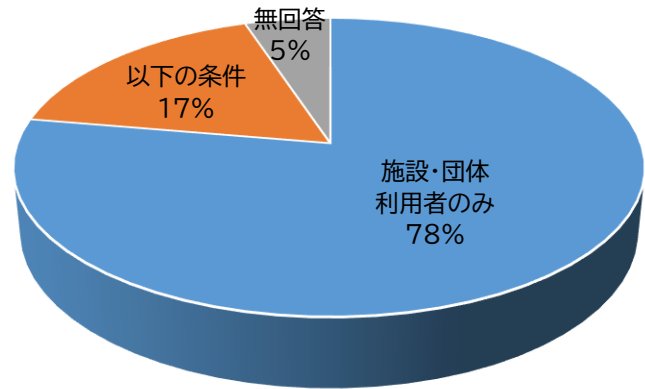
回答内容は、別途、添付資料参照。

回収結果(全体)

【質問9】

貴施設・団体で実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	244	77.7%
2. 以下の条件	54	17.2%
無回答	16	5.1%



【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

回答内容は、別途、添付資料参照。

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

回答内容は、別途、添付資料参照。

【質問11】

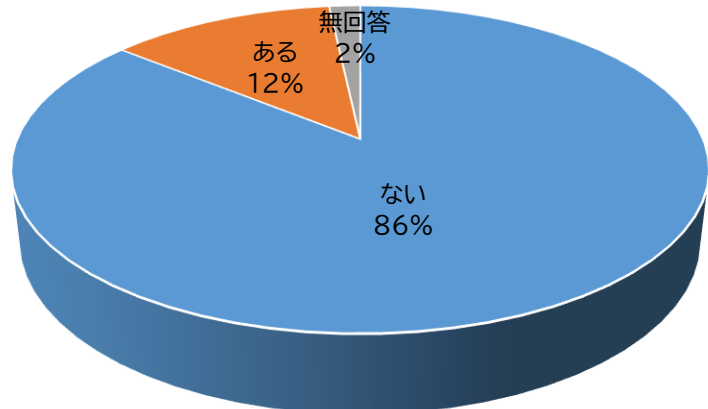
当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

回答内容は、別途、添付資料参照。

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	29	12.4%
2. ない	200	85.8%
無回答	4	1.7%

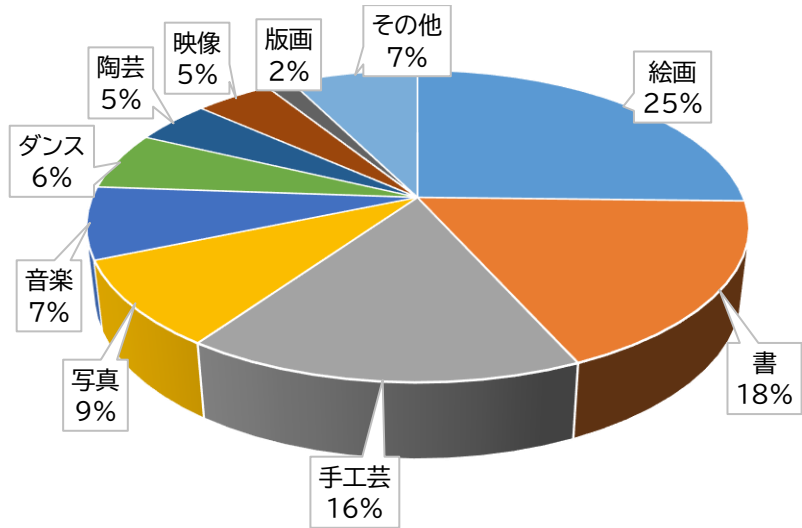


回収結果(全体)

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。(複数回答可)

	回答数	割合
1. 絵画	17	25.4%
2. 版画	1	1.5%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	12	17.9%
5. 音楽	5	7.5%
6. ダンス	4	6.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	6	9.0%
10. 映像	3	4.5%
11. 手工芸	11	16.4%
12. 陶芸	3	4.5%
13. その他	5	7.5%



アンケートを終えての考察

障害者施設における文化活動の取り組み

今回のアンケートにより、障害者施設によって障害者の文化活動（以下、「文化活動」という。）への取り組みに方に大きな違いがある事が分かった。特に文化活動が積極的だった施設は、「障害者地域活動ホーム」「精神障害者生活支援センター」「地域活動支援センター」「障害者福祉サービス事業所」が挙げられる。一方、「障害者グループホーム」は文化活動へのアプローチが少ない事がわかった。

各施設において文化活動があまり実施されない理由としては、

- ① 就労支援あるいは生活訓練を主な施設運営としているため、それ以外の事業はあまり取り入っていない。
- ② 食品等の製造販売を行っている施設であり、利用者がこれらの作業（製造販売）を希望しているため。
- ③ 文化活動に対して興味を持っている人がいない。
- ④ 利用者の障害程度が非常に重く、あるいは、著しい行動障害のため文化活動に取り組むのが困難。
- ⑤ 職員間において文化活動に取り組んでいく余裕がなかった。などがある。

また、「障害者グループホーム」としては、

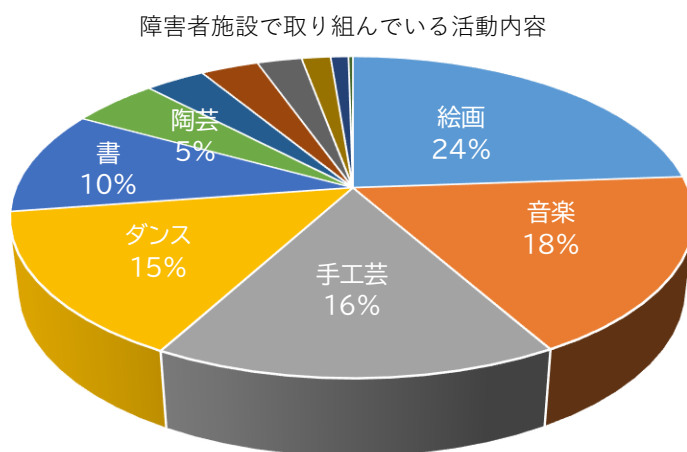
- ① そもそも、グループホームは住居であり、入居者それぞれが趣味に合った活動を行っており、個人のニーズに応じて支援している。
- ② 居住者は、別の場所での日中活動で絵画制作や手工芸に取り組んでいたりと、作業所やデイケアに通っている。
- ③ 職員の勤務が夕方から翌朝までなので、グループホーム内で文化活動に取り組むのは困難。

以上のことから分かるように、同施設は生活中心の施設であり、個々の行動もそれぞれの自主性を重んじている。そのため、組織的に何か活動を行うことは少ない。

障害者施設での取り組み「ベスト6」

施設によっては、文化活動を積極的に行っている施設もある。

文化活動を行っていると回答した314施設で、既に取り組んでいる文化活動の内容のうち、「ベスト6」は下のグラフのとおりである。



それぞれの施設の取り組んでいる内容の「ベスト6」は以下のとおり。

「障害者地域活動ホーム」では、
1位：絵画、2位：音楽、3位：ダンス、4位：手工芸、5位：書、6位：陶芸

「精神障害者生活支援センター」では
1位：絵画、2位：書、3位：音楽、手工芸、5位：写真、6位：ダンス

「地域活動支援センター」では、
1位：絵画、2位：手工芸、3位：音楽、4位：書、5位：ダンス、6位：陶芸

「障害者福祉サービス事業所」では、
1位：絵画、2位：ダンス、手工芸、4位：音楽、5位：書、6位：陶芸

となっており、どの施設においても同様の内容が実施されているものと推測できる。

これらの内容が採用されるのは、利用者のニーズ

の高さ、手軽さ、そして何よりも、指導者が比較的容易に探せることが理由として考えられる。また、施設職員としても、企画する際に、まず考え付くのがこの「ベスト6」ではないだろうか。

横浜ラポール、ラポール上大岡（以下、「両ラポール」という。）の文化活動でも、この「ベスト6」の教室、ワークショップは頻繁に開催されており、その人気も高い。

一方、その他の活動としては、さをり織り、ちぎり絵、フラワーアレンジメント、七宝焼きなど多岐に渡っている。

指導は外部講師・ボランティア

障害者施設での文化活動の指導者は、約60%が外部講師・ボランティアであり、残り40%程度が施設職員が担っているという結果だった。

創作スキルのある個人アーティスト（指導者）との繋がりが、各施設の歴史と共に培われたものと推測される。また、施設近隣の町内会、婦人会などの有志による関わりも比較的多いようである。

外部講師の紹介元として、各区の社会福祉協議会、「街の先生」などが挙げられ、両ラポールとしても、今後、これらの団体と連携し、文化活動の講師の発掘に努めていきたい。

今回のアンケートで、各施設で活動している講師の情報も多く入手することができた。今後、両ラポールからの情報発信の際、指導者および指導団体の紹介の大きな情報源となる。

作品発表の場はほぼ固定されている

アンケートで、各施設で制作された作品の発表の場はあるかという質問に対し、実に66%の施設が「ある」と回答している。

大別すると、

① 各区役所、自立支援協議会主催

- ② 各障害者団体、各障害者施設主催
- ③ 横浜ラポール「ラポール美術展」
- ④ 企業主導型イベント
- ⑤ ロータリークラブ等非営利団体主催
- ⑥ 地域もしくは各施設でのお祭り

が挙げられる。想像以上に作品展等の機会が多くあることが分かった。今後の、「横浜ラポール『ラポール美術展』」や「ラポール上大岡『#芸術交差点』」の開催において、そのコンセプトを明確化にし、他の展示会等との差別化などをアピールしていき、横浜市内における乱立する障害者作品展の中に埋もれることがないようにしていくことが必要となる。

横浜市内における、両ラポール以外で比較的規模の大きい作品展としては、

① ココロはずむアート展

横浜市北部で知的障害施設（2021年は5施設）に通う人達が作ったアート作品の展示。毎年ギャラリーや障害者施設で開催している。

② ふれあい作品展（高島屋）

横浜市内の養護学校、横浜市作業所連絡会などが参加して開催している。（原則、毎年開催。）

③ さかえ egao プロジェクト

栄区にある福祉事業所の職員や志のあるアーティストによって2011年活動開始。毎年、様々なパフォーマンスを企画している。

精神障害者をはじめ、生きづらさを抱える人たちの美術・アート作品をWeb上で発表・発信する「横浜こころの美術展」も開催している。

④ こうなんひまわりアート展

障害者の作品を通して、障害者への理解を深めていただくことを目的に開催している。主催は港南区自立支援協議会。

⑤ 障がい者作品展

横浜市内の障害者施設の利用者による作品展。約30施設から公募し200点程度を展示。県民ホール展示室で開催している。主催は中ロータリークラブ。

⑥ みんなのギャラリー（金沢区）

金沢区に在住、通勤、通所、通学している障害児・者による作品展。3会場（金沢区社会福祉協議会「いきいきセンター金沢」、金沢区役所、Web会場）で開催している。主催は金沢区自立支援協議会。

⑦ 「障がい者アート常設展」（県立青少年センター）
神奈川県による「ともいきアートサポート事業」

の取組の一環として実施。県立青少年センター（西区）のスタジオ HIKARI 交流スペースで常設展示している。展示団体は川崎市幸区の「studio FLAT」、平塚市の「studio COOCA」、小田原市の「アール・ド・ヴィーヴル」の3団体。

⑧ フェローアートギャラリー

誰もが障害のあるなしで区別されることなく、同じ地平で認め合える豊かな関係性が築かれることを願って開催されている展示会。アートフォーラムあざみ野で開催している。

⑨ 障がい者の作品展

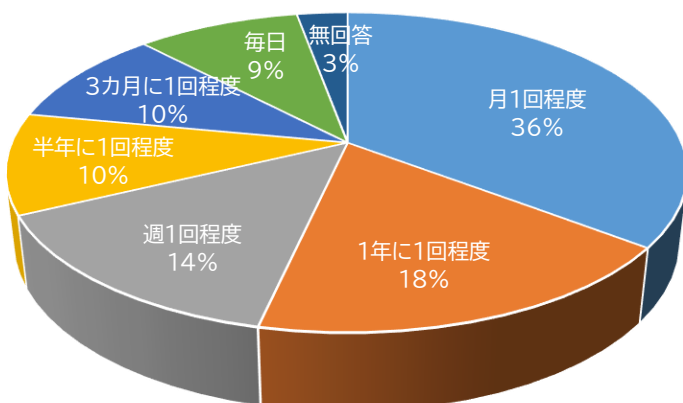
毎年、横浜新都市ビル（横浜そごう 9 階）で開催している。横浜市内数か所の作業所などが参加し、多種多様な作品が展示される。主催は株式会社インキュブ&リリース HLDGS。

⑩ 横浜市精神障害者地域生活支援連合会（市精連）、横浜市障害者地域作業所連絡会（市作連）主催の展示会

不定期であるが障害者の作品展（公募展）を開催している。

以上のように、障害者の作品展は横浜市内でも多く開催されているが、各障害者施設において、文化活動を行っている頻度はそれほど高くはない。ただ、毎日、週1回程度あるいは月1回程度行っている一部の障害者施設が様々な活動を積極的に行っている結果だと推測される。

障害者施設における文化活動の開催頻度



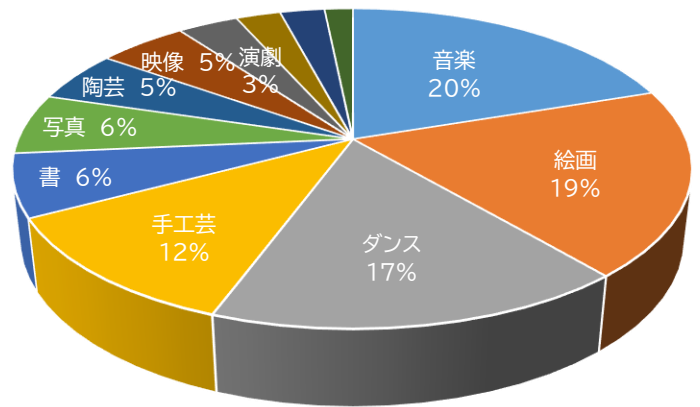
また、ここ数年のコロナ禍の影響により、Web を活用した新しい取り組みも出てきている。Web を活用した情報発信、パフォーマンス発信は今後、両ラポ

ールにおいても必要な取り組みとなる事は間違いない。課題として認識し、早急に対応することが望ましい。

音楽・絵画・ダンスは取り組みやすい

障害者施設利用者の興味のある内容を質問したところ、下の様な結果だった。

障害者施設の利用者が興味のある文化事業



前述したように、「音楽」「絵画」「ダンス」「手工芸」等はやはり人気が高い。

その理由としては、

- ① 音楽が好きで利用者が多い為、音楽と合わせたダンス活動はとても人気がある。ダウン症の子ども達はダンスが好き。
- ② 自分の作品が発表できる場があると本人の励みにもなる。
- ③ 自分のペースで取り組める。保管しやすい。
- ④ 仲間と一緒に活動のため。
- ⑤ リハビリを兼ねた活動として取り組みやすい。
- ⑥ 音や動きは分かりやすく、刺激を受けるので、障害の重い方も一緒に活動ができる。などが挙げられる。

60%の施設が指導者派遣(紹介)を希望

前述したように、各障害者施設の文化活動の指導者は60%程度が外部講師・ボランティアにより何らかの指導を受けている。指導者の数は各施設ともかなり充足していると考えられるが、指導レベル、継続性、満足度はどうなっているのだろうか。また、文化活動を実施していると回答した40%程度の施設では施設職員が文化活動を担当しており、活動の限界を感じているようである。

今回のアンケートで文化活動を実施している障害者施設の61%が両ラポールからの指導者派遣(紹介)を希望していることが分かった。

「希望する」主な理由としては、

- ① 現在行っている文化活動の幅を広げたい。専門知識のある指導者を探しているが見つけれない。
- ② 職員が指導するには限界があり、マンネリ化する。プロの指導を受けたい。
- ③ 施設外の指導者・専門家からの指導を受けたい。専門家から教えて頂く機会は利用者にとっても良い機会となる。
- ④ 障害理解のある方から指導を受けたい。専門の指導者を迎える事で利用者が生き活きとする。
- ⑤ どこまでの専門性なのか興味がある。
- ⑥ 専門性の高い指導者がいないため。

一方、指導者派遣を「希望しない」理由としては、

- ① 「街の先生」で対応している。
 - ② 予算がない。
 - ③ 両ラポールに行けば何かできる。
 - ④ 現状の指導者との関係性が良好。
 - ⑤ 派遣の指導者が継続できる方なのかどうか不安。単発なら必要としない。
- などが挙げられる。

以上のように、両ラポールからの指導者の派遣を希望する施設は多い。両ラポールが課題としている「地域支援」としての展開を考えた時、上記のように「派遣(紹介)を希望する」施設へ、満足できる対応をするためにはハードルが非常に高い。必要経費の問題、期間の問題なども含め、派遣を希望する施設に対し、ニーズにあった指導者を紹介できるようになるには、まだまだ時間が掛かりそうである。

地区センターより地域ケアプラザ

市民利用施設の中で、文化活動の活動実績があるのは地区センターより地域ケアプラザであることが分かった。地区センターの17.9%に対し、地域ケアプラザは63.8%の割合で実績がある。これは、そもそもの施設の設置目的が違うため、当然の結果かも知れない。

地域ケアプラザでの文化活動実績を調べてみると、やはり「絵画」「音楽」「ダンス」「手工芸」など、前述した「ベスト6」の中の項目が主な活動内容である。ここでもやはり、これらの内容は開催しやすいものと推測できる。

地域ケアプラザでも文化活動が開催できない課題を抱えている。内容としては、

- ① ニーズがない。もしくは、やり方が分からない。
- ② 障害者団体への貸館として対応するのが現状であり、自主事業として、何かを開催するということができている。
- ③ 今まで取り組む機会がなかった。

などがある。地域ケアプラザの設立目的からも「障害者支援」というキーワードは外せず、両ラポールが連携をして事業を展開するには、絶好のパートナーとなれることは間違いない。今後は、地域ケアプラザとの連携事業を積極的に行っていくべきだと考える。

また、横浜市内にある文化施設も同様である。文化施設もアウトリーチ事業や障害者を対象とした事業が必要となっており、そのノウハウを欲している。

現在、両ラポールとしても、市民利用施設と一定の連携は行ってはいるが、今後は、計画的に連携相手を増やしていくべきだと考える。

原則、施設利用者のみが参加できる

今回のアンケートで314施設から、何らかの文化活動を実施しているとの回答を得たが、それらに参加できるのは、原則、その施設利用者のみであることが分かった。

また、障害者の文化活動の実績のある「地域ケアプラザ」「地区センター」「市内文化施設」を除いた場合(これらは市民利用施設)、実に88.1%の障害者施設

が、参加できるのは施設利用者の限定となっている。

では、どこの施設にも属していない障害者はどこで文化活動を行っているのか。残念ながら今回のアンケートではこの答えを導き出すことはできない。そのためにも、両ラポールにおいては、どこの施設にも属していない障害者の文化活動の支援のため、多岐に渡る事業を様々な形態、様々な場所で実施すると共に、併せて効果的な広報を行う事が求められている。

非常に多い障害者アーティスト

アンケートの中で障害者アーティストの紹介をお願いしたところ、非常に多くの方々の紹介があった。作品の完成度については未知数だが、それでも埋もれているアーティストはかなりの数が存在していると思われる。

今後は、これらのアーティストに対し、横浜ラポール「ラポール美術展」への出展を勧めたり、場合によっては、個展もしくは2人展などの「企画展」を開催することにより、障害者作品の発表の場を創り出し、障害者の社会参加のきっかけ作りを行う事が両ラポールの行うべき支援である。

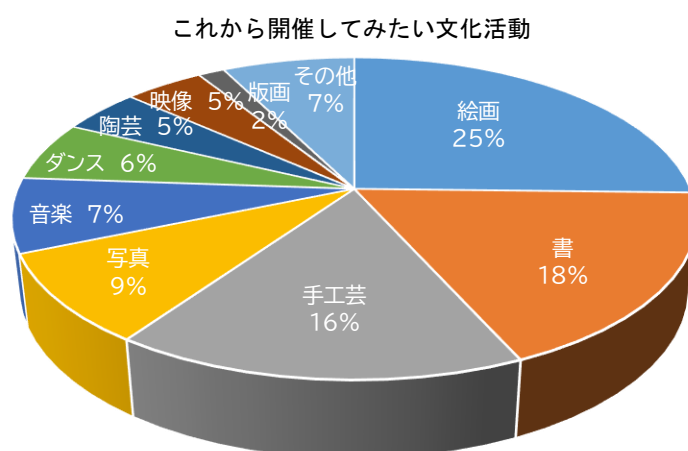
今回得た障害者アーティストの情報は別途まとめて、今後の対応の参考とする。

やはり「ベスト6」は定番

現時点で文化活動を行っていない施設として回答したのが237施設。その内、今後、障害者の何らかの文化活動を実施したいと思っている施設が29施設だった。この29施設で実施してみたいと考えている内容は、前述したような「絵画」「書」「手工芸」「写真」「音楽」「ダンス」が上位6項目となっており、これは、現在、文化活動を行っている施設と同じ内容である。

やはり、この6項目は人気であることが分かる。これもまた、障害者施設を利用している当事者の皆

さんのニーズが高いことと、施設職員が実施するにあたり非常にイメージしやすい種類であることが理由と考えられる。



(参考資料)

各施設ごとの集計

① 障害児・者団体

発送数：24 回収数：4 回収率：16.7%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	3	75.0%
2. ない	1	25.0%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

研修会（勉強会）を主体に活動しているため。

【質問2】

それはどのような内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	2	66.7%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	1	33.3%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	1	33.3%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	2	66.7%
12. 陶芸	1	33.3%
13. その他	3	100.0%

文章、手話コーラス、手話学習会、フラワーアレンジメント。

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	0	0.0%
2. 外部講師	1	33.3%
3. ボランティア	0	0.0%
4. その他	2	66.7%

会員、当事者、個人の指導者。

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	0	0.0%
2. 週1回程度	0	0.0%
3. 月1回程度	1	33.3%
4. 3カ月に1回程度	1	33.3%

5. 半年に1回程度	0	0.0%
6. 1年に1回程度	1	33.3%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	2	66.7%
2. ない	1	33.3%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

会報（詩、散文、体験談、エッセイ）作品を掲載。

浜身連新聞。

上部団体、神奈川県腎友会で会員の作品展を年1回開催していますが、今年はかながわ県民センター、横浜ラポールも改修工事で予約が取れませんでした。

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	2	66.7%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	1	33.3%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	1	33.3%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	1	33.3%
12. 陶芸	1	33.3%
13. その他	3	100.0%

文章、手話学習会、フラワーアレンジメント。

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	2	66.7%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	2	66.7%
5. 音楽	1	33.3%
6. ダンス	1	33.3%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	2	66.7%

10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	1	33.3%
13. その他	0	0.0%

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

聴覚障害者の場合、音楽を聴きながらダンスは難しいが、壁があるほどやってみたいあこがれがある。絵画や書は聴覚障害に関係なく学べる。

透析者は70歳代が多く、油絵、書道、写真の趣味が多く、作品展が本人の楽しみ（励み）になります。

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえらるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	2	66.7%
2. 希望しない	1	33.3%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

「する」講師謝金が高額なら難しいが、私たちの障害を理解する指導者がいれば派遣を希望する。

「する」コロナが終息すれば文化芸術活動。

「しない」コロナ禍で複数で集まることができません。また会場が利用できません。

【質問9】

貴施設・団体で実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	2	66.7%
2. 以下の条件	1	33.3%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

同障の方、及びその家族、支援者。

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

回答なし

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

絵手紙同好会メンバー

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	1	100.0%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

② 障害者地域活動ホーム

発送数：56 回収数：28 回収率：50.0%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	26	92.9%
2. ない	2	7.1%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

ご利用者様からの要望が特にないため。
通所者でそのような活動ができる方がいない。

【質問2】

それはどのような内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	19	73.1%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	8	30.8%
5. 音楽	17	65.4%
6. ダンス	11	42.3%
7. 演劇	2	7.7%
8. 伝統芸能	1	3.8%
9. 写真	1	3.8%
10. 映像	1	3.8%
11. 手工芸	9	34.6%
12. 陶芸	5	19.2%
13. その他	6	23.1%

音、切り絵製作、手話、自主製品など、立体造形。

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	17	65.4%
2. 外部講師	10	38.5%
3. ボランティア	12	46.2%
4. その他	1	3.8%

(※○印は個人名、□は団体名)

NPO法人、社協等のボランティア登録者。

□□。エアロビクス：○○先生。

□□（絵）、○○先生（習字）、□□協会、臨床美術講師。陶芸の先生、ヨーガの先生、フラダンスの先生、□□の方です。

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	3	11.5%
2. 週1回程度	4	15.4%

3. 月1回程度	10	38.5%
4. 3カ月に1回程度	1	3.8%
5. 半年に1回程度	1	3.8%
6. 1年に1回程度	7	26.9%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	19	73.1%
2. ない	7	26.9%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

(絵画) 近隣の銀行ロビー。
 社会福祉協議会が入っている施設内のフロア。横浜ラポール芸術市場。
 区役所、区内障害関係事業所。
 ロータリークラブ障害者作品展、地域の美術展（老人クラブなど）。
 ココロはずむアート展。
 サンハートの展示スペース。
 当施設の秋祭りなど。
 自主製品として区役所か近所のカフェに納品したり、絵はビーズの原案になったり、プリントしてそのまま絵カードやポチ袋になったりしています。
 年一度の地域バザーにて展示している。
 近くの地域ケアプラザで発表したことが数回ですがあります。
 近隣の団体主催の作品展など。
 高島屋ふれあい作品展。地域の信用金庫掲示板。
 自立支援協議会啓発活動による自主製品展示会など。
 他施設での展示、公会堂など。
 近隣の特別養護老人ホームや保育園（コロナ禍以前）。

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	16	61.5%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	6	23.1%
5. 音楽	11	42.3%
6. ダンス	7	26.9%
7. 演劇	1	3.8%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	6	23.1%
12. 陶芸	4	15.4%
13. その他	7	26.9%

手話、自主製品など、立体造形。

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	11	42.3%
2. 版画	1	3.8%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	4	15.4%
5. 音楽	22	84.6%
6. ダンス	19	73.1%
7. 演劇	6	23.1%
8. 伝統芸能	2	7.7%
9. 写真	2	7.7%
10. 映像	3	11.5%
11. 手工芸	2	7.7%
12. 陶芸	2	7.7%
13. その他	1	3.8%

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

体を動かす活動に取り入れやすい。音楽は種類もあるが、利用者のほとんどが好きである。

音楽やダンスは誰でもがそれぞれの感性で楽しめるものであり、レベルとかに関係なければ多くの方が興味あると思いますし好きであると思います。

音楽や体を動かすことが好きなので（利用者）。

DJ、造形。

ダンスは音楽療法などで体を動かしていたので、伝えやすいと思われます。（現在はコロナ禍のため中止）演劇も余暇活動でずっと続けていました。（ダンス同様に中止しています。）プログラムとしても中止しています。

自分の個性が表現できる。それを見てくれた方が評価してくれる。また普段関わっている職員以外のボランティア等が教えてくれる活動（書など）は、また違った楽しみがある。（新たな可能性が発見できたり。）

ダンスはTVなど見て喜んでいる方も多い。演劇に関しても個人的に活動団体に入っている方は多い。

比較的障害の重い方が多いので、わかりやすいのだと思います。

音楽やダンスなど興味がある利用者さんがいるため。

音楽はカラオケが好きな利用者が多く、コロナが広まる前まではヘルパーさんとカラオケに出かけていました。好きなタレントがいて歌うことでストレス発散にもなるようです。伝統芸能は能が好きで保護者と能楽堂へ行く利用者がいます。独特な言い方が面白いと言っています。

音楽が好きな利用者が多い為、音楽と合せたダンスや活動はとても人気がある。

音楽プログラムの反響を見て。

利用者の希望。

感覚的な活動で表情が良くなる方が多い為。

楽しく活動できるから。

参加でき楽しめそうな利用者さんがいるから。

物を作成する事が好きな方が多いから好きかなと思います。コンサートで知っている曲のダンスをする様子が見られている。（パブリカ、フォーチュンクッキー等）。

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	17	65.4%
2. 希望しない	6	23.1%
無回答	3	11.5%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

「する」希望するが、利用者ご家族からのコロナ感染に対する不安が強いため、外部からの講師を受け入れることが難しい。

「する」いい方がいればもちろんご紹介いただきたいですが、例えば予算の関係とか、また活動を行うにあたり、講師の方をお招きしたとしても受け入れ側としての施設の職員体制が十分でフォローしきれぬか等の課題はあり、簡単ではないとも思っています。

「する」機会（芸術活動等）がもう少しあると良いと考えているため。

「する」プロフェッショナルな関わり、アプローチを目の当たりにすることで重心の方へのコミュニケーションのあり方を援助者としてブラッシュアップしたい。

「する」活動内容の充実化を図るため。

「する」質問7にも記載したように、現場の職員ではできない新しいことにチャレンジできそうだから。

「する」皆さん音楽やダンスが好きな方も多いため、そういった芸術などがあると喜ばれます。

「する」費用にもよりますがスタッフが1から勉強して指導するよりも専門の指導者の方がスムーズに支援できると思われるため。

「する」コロナ後、新たな活動をしていきたい為。

「する」プログラムの一つとして取り組みたい。

「する」今、絵画など講師の方がいないので。

「する」講師料などが必要な場合は検討しなければなりません、職員では持っていない専門性（スキル）を講師の方に来てもらうことで利用者支援に繋げることができると思う。

「する」職員が指導するには限界がある。プロの方は指導のレベルが違う。利用者がお客様大好きなので外部の方が来るととても盛り上がる。

「する」同じことでも専門性、外部からということで別の視点から引き出せるものがありそう。

「する」活動の幅が広がるきっかけになればいいなど感じる。

「しない」今は感染状況が落ち着かないので希望しません。

「しない」現在の取り組みにおいては必要性を感じていないため。

「しない」趣味程度のものなので「派遣」と言われると気が引ける。

「しない」実施スペースの課題と施設内の取り組みもあるので、多すぎても通所者の疲労や障害種別のバランスを考慮して、今の時点では希望しません。

【質問9】

貴施設・団体に実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	21	80.8%
2. 以下の条件	4	15.4%
無回答	1	3.8%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

すべての利用者、すべての援助者。

金沢区在住または通所等されている障害のある方。区作連に声掛けしている。

生活介護契約者。

第2、第4木曜日は学齢期が対象で芸術活動に参加できます。ただし、横浜市在住の障害を持っている方で送迎ができる方となります。

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

（※○印は個人名、□は団体名）

□□、□□、○○。

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

利用者が作った作品を展示する機会があれば出展してみたい。（希望者のみ）

すべての利用者に可能性があり推薦します。

ホーム自体で絵の活動があり、皆さますてきな絵、作品を作られます。また、港南区でひまわりアート展（絵画作品展）を実施しており、そちらへも出展しています。

推薦したい方、興味のある方はいると思います。ご本人等に確認が必要です。

絵画はとても上手な利用者が数名います。内1名は県民展への出展や個展もやっている方です。

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	2	100.0%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

③ 多機能型拠点

発送数：3 回収数：1 回収率：33.3%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	1	100.0%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

どのような活動があるのか、作品展示等の機会がいつあるのか等、基本的な情報を知らない場合が多いです。通所されているご利用者が一緒に参加し取り組むことができる活動がもしあれば、ご家族やご利用者の希望も伺いながら進められればという考えはあります。

【質問2】

それはどのような内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	0	0.0%
2. 外部講師	0	0.0%
3. ボランティア	0	0.0%
4. その他	0	0.0%

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	0	0.0%
2. 週1回程度	0	0.0%

3. 月1回程度	0	0.0%
4. 3カ月に1回程度	0	0.0%
5. 半年に1回程度	0	0.0%
6. 1年に1回程度	0	0.0%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	0	0.0%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

回答なし

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%

11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

回答なし

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	0	0.0%
2. 希望しない	0	0.0%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

回答なし

【質問9】

貴施設・団地で実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	0	0.0%
2. 以下の条件	0	0.0%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

回答なし

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

回答なし

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

回答なし

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	1	100.0%
2. ない	0	0.0%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	1	100.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	1	100.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

④ 精神障害者生活支援センター

発送数：18 回収数：10 回収率：55.6%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	9	90.0%
2. ない	1	10.0%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

助成金を受け横浜アートサイトとの協働を数年間行う。障害者参加の企画、運営でギャラリー、ワークショップの講演、出前展示等へつながって行った。現在はイベントの自粛、組織の方向転換もあり、当事者活動をしている。

利用者個人で制作をされていますが施設としての取り組みはありません。

【質問2】

それはどのような内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	6	66.7%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	4	44.4%
5. 音楽	3	33.3%
6. ダンス	1	11.1%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	2	22.2%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	3	33.3%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	4	44.4%

ペーパークラフト、絵手紙、俳句、フラワーアレンジメント。

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	4	44.4%
2. 外部講師	3	33.3%
3. ボランティア	5	55.6%
4. その他	2	22.2%

当事者。

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	0	0.0%

2. 週1回程度	1	11.1%
3. 月1回程度	6	66.7%
4. 3カ月に1回程度	0	0.0%
5. 半年に1回程度	1	11.1%
6. 1年に1回程度	0	0.0%
無回答	1	11.1%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	9	100.0%
2. ない	0	0.0%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

主催の文化祭、書初め、他機関主催のふれあい祭り等への参加。

施設内の利用者作品掲示場所。

区域関係機関等。

ケアプラザのギャラリーなどを借用し個展、グループ展。子供・母子向けイラスト描きのワークショップ。

社会福祉協議会。

施設内の壁面の一部やカウンターなどに掲出。

区役所。

地域のギャラリー（俳句）。

法人内文化祭。

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	5	55.6%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	2	22.2%
5. 音楽	2	22.2%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	1	11.1%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	2	22.2%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	3	33.3%

ペーパークラフト、俳句、フラワーアレンジメント。

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	6	66.7%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	2	22.2%
5. 音楽	3	33.3%
6. ダンス	1	11.1%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	3	33.3%
10. 映像	1	11.1%
11. 手工芸	3	33.3%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	3	33.3%

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

表現をしたい。派手さより慎重に。でも自分を出したいが過去に何らかの関わりのある事柄での参加であって、新規には弱い。

従来から絵画については作品を作る機会があるから。写真は施設の定期発行物に写真を載せて欲しいとの要望が時々あるから。

ペーパークラフト。

館内掲示を希望する人がいる。趣味で絵を描いたり、写真を撮っている人が複数いる。

利用者の方々が自発的に絵手紙サークルを作り絵手紙を作成しているため。

多岐に渡る事業。

これまでもサークルを開催していますが人気が高かったので。

俳句、フラワーアレンジメント。

趣味から。

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえらるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	5	55.6%
2. 希望しない	4	44.4%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

「する」専門とする指導者の目から活動の様子を見ていただきたい。楽しく活動ができ、地域の輪に入ることができることに発展させたい。集中力の持続に弱く、途中で終わらないコツなどを学びたい。学ばせたい。

「する」職員による指導だけではマンネリ化するため。

「する」希望したいが現在のところ新しい取り組み未定。（他業務とのバランスあり）

「する」コロナ終息後に希望する。

「しない」現時点で取り組みの余裕がない。

「しない」何処に行けば文化芸術活動ができるかの情報は欲しいが、当施設での積極的な活動実施は考えていない。

「しない」タイミングなどによっては（利用者ニーズ）。それほど人数が集まらないことも多いので。

「しない」港北区では区民活動支援センターで「まちの先生」事業を実施しており、そちらに派遣を依頼できるから。

【質問9】

貴施設・団体で実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	6	66.7%
2. 以下の条件	3	33.3%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

精神障害者ご本人とその家族、周囲の方々（地域）支援者もOK。

プライバシー保護や障害に理解のある方。

当施設利用対象の障害当事者本人。

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

港北区では区民活動支援センターが「まちの先生」事業を実施しています。文化・芸術に関する講師も基本的に無償で依頼できます。

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

絵画、折り紙、小物、ペーパークラフト等。よろしくお願いします。

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	1	100.0%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%

8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

⑤ 地域活動支援センター

発送数：151 回収数：87 回収率：57.6%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	67	77.9%
2. ない	20	23.3%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

パン、クッキーの製造販売を常に行っているため、他の活動は行っていない。
参加したいと考える方がいないため。

就労訓練を目的としている事業所のため。文化芸術活動に取り組むことを目的に入ってくる方がいないため。個人に対して作品展等やコンクール等があった場合、声かけすることはあるが、施設として取り組んでいない。

今までに文化芸術関係に興味を持たれた方がいませんでした。

主にミーティングを行う施設のため。

興味をもって取り組む人材（施設利用者）がいないから。

ラポールの行事にガイドヘルパーさんと参加している。興味のあるスポーツやイベントを選んで利用している。

取り組む時間がなかった。芸術に秀でる者がいなかった。

主に作業をしているため。

パン工房を営業（カフェ）しているので、文化芸術活動に対しての取り組みは考えていない。

芸術系に興味を持つ利用者がいないため。

芸術を教える方がいない為。

取り組み自体への理解がまだ不十分なため。

今まで取り組んだ事例がないこと。利用者が作業を希望しているため。

取り組むきっかけがなかったため。

利用者からの希望がなかった。

作業所のプログラムにない。お楽しみ会等で通所者さんの希望があればダンスや歌を行う事もある。

喫茶を営んでおり機会がない。

【質問2】

それはどのような内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	39	58.2%
2. 版画	3	4.5%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	22	32.8%
5. 音楽	27	40.3%
6. ダンス	19	28.4%
7. 演劇	8	11.9%
8. 伝統芸能	5	7.5%
9. 写真	5	7.5%

10. 映像	4	6.0%
11. 手工芸	37	55.2%
12. 陶芸	9	13.4%
13. その他	18	26.9%

織物、外部施設での体験、きめこみ人形づくり、貼り絵、立体造形、絵手紙、美術、演芸、トランプマジック、運動、講演会、ふれあい交流会、銅板工芸、七宝焼き、押し花、手話、革細工、文学、語学、紙すき、共同作品作成、パステル画、ちぎり絵、生花、朗読、さをり織り、ぬりえ。

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	45	67.2%
2. 外部講師	38	56.7%
3. ボランティア	29	43.3%
4. その他	5	7.5%

（※○印は個人名、□は団体名）

個人の書道家の先生。

地域婦人部で行っているクラブの方々のボランティア（外部講師）。地域町内会（老人会、ひまわりクラブ）。

ジャズ○○氏。

□□協会、絵画・美術指導、□□協会。

□□。

陶芸（○○さん）、トランプ（YouTube）。

○○さん（チョークアート講師）。

ケアプラザ経由で紹介。元法人スタッフ。

戸塚区を中心に活動されている手話ダンスサークル□□様の○○代表にボランティアで来て頂いています。

ほどがや版画グループほか。

個人で教室を持っている講師。中区社会福祉協議会で紹介していただいたボランティア。

○○、○○。

音楽療法講師：○○先生。絵手紙・水彩画講師：○○先生。認定音楽療法士、個人の音楽サークル主宰。

「SAORI」織りの先生に来て頂いている。「キミコ方式で絵を描こう」で教わった人。

「演劇」はワークショップを開催。（劇団の演出家さん）「音楽」はサークルとして活動。個人の書道家の先生。（近隣のボランティアさん）「陶芸」は利用者さんのご家族の陶芸作家さんに来て頂いた。絵は日常的に描く人がいる。ダンスは創作舞踊をする利用者さんが踊る際にダンスをやっている。職員と一緒にみんなで踊った。

ミシンの講師（月2回）。

□□職員、施設職員。

○○さん。

手紡ぎワークショップ講師：○○、フェルトワークショップ講師：○○、アートワークショップ講師：○○、ダンスワークショップ講師：○○。

街の先生（金沢区民活動センター）。

□□。

○○。

（個人）ダンサー、トランペット奏者。

染色家、イラストレーター、パステル画家。

○○。

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	6	9.0%
2. 週1回程度	14	20.9%
3. 月1回程度	20	29.9%
4. 3カ月に1回程度	8	11.9%
5. 半年に1回程度	4	6.0%
6. 1年に1回程度	13	19.4%
無回答	2	3.0%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	47	70.1%
2. ない	20	29.9%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

書道や絵画は壁に展示する。

横浜ラポール。

中ロータリークラブの作品展へ出展。作業所、喫煙室にて婦人部（クラブ）の方々と利用者と合同作品展を開催。

複数ある施設の中で、活動しやすい施設を選んでいきます。杉田劇場。

コロナ禍で激減しているが、地域のバザーやお祭り、青葉区役所で販売している。

県民ホール、横浜そごう、地下鉄駅構内。

鶴見区役所で開催される区民文化祭。

カフェ店内壁画。

港北区ギャラリー「アートかれん」にて隔年で展示会を行っている。

わくわく祭り（5年に1度位のペースで開催）。

他団体施設が催すカラオケ大会。絵画コンテストへの応募やバザーなどの展覧。

区役所、地域福祉活動拠点。

2年に1回。ギャラリーを借りて展示・販売。逆に言ったらそれだけ。活動時間中に文化芸術活動をしているわけではなく、個人が作った作品を展示・販売する機会を提供しているだけ。

法人のカレンダー作成に合わせた「アールグリュット展」。

手工芸品は自主製品として販売している。（障害者支援センター、泉区スタンプラリー）絵画、まちごと美術館出展（個人で）、泉区作品展参加。

外部展示会等。

SCMときわとか、コミュニティーハウスおさんとか、同法人の少し離れて地域の方々と交流のできる施設を使っています。

店頭での販売etc。

泉区役所作品展。

外部施設、事業所。

市民公開講座（区主催普及啓発事業）会場（年1回）、銅板工芸展（年1回、講師主催）。

販売会や作品展。

近隣の中学校が主催するサマーチャリティーコンサート。ケアプラザへ音楽ボランティア。

近くの障害者施設でのイベント時に展示した。

発表の場ではないのですが、地域バザーにて販売し、当作業所の活動を知ってもらえることができていると思います。

区民文化祭・障害者団体展示場。音楽は施設のクリスマス会にて発表。

他中活センターとの音楽交流。（公会堂）

同法人のカフェなど。区内の施設で企画するお祭りなど。

横浜市健康福祉総合センター。

本郷台駅前駐輪場展示。Egaoプロジェクトのフェスティバル。

役所でのコンクールなど。

障害者作品展（横浜中ロータリークラブ）神奈川県民ホール、障害者の作品展（インキュブ&リリースHLDG.S）そごう横浜店。

区役所、いきいきセンター。

SNS。

区公会堂など公共施設ホール、スタジオ。

横浜ラポール芸術市場「ラポール美術展」。

本郷台駅前駐輪場、パラアートTOKYO。

あざみ野ギャラリー、ピアまつり（YRS主催）。

寿町健康福祉交流協会における作品展、中区ポレポレ祭りにおける自主製作品の販売など。

手話ダンスの発表会。

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	25	37.3%
2. 版画	2	3.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	17	25.4%
5. 音楽	23	34.3%
6. ダンス	9	13.4%
7. 演劇	1	1.5%
8. 伝統芸能	3	4.5%
9. 写真	3	4.5%
10. 映像	2	3.0%
11. 手工芸	33	49.3%
12. 陶芸	3	4.5%
13. その他	12	17.9%

ヨガ、外部での体験、ぬりえ展、絵手紙、美術、運動、銅板工芸、七宝焼き、パソコン教室、紙すき、織物、さをり織り。

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	31	46.3%
2. 版画	7	10.4%
3. 彫刻	3	4.5%
4. 書	16	23.9%
5. 音楽	30	44.8%

6. ダンス	21	31.3%
7. 演劇	8	11.9%
8. 伝統芸能	7	10.4%
9. 写真	13	19.4%
10. 映像	8	11.9%
11. 手工芸	26	38.8%
12. 陶芸	14	20.9%
13. その他	6	9.0%

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

作業だけでなく、文化活動に興味のある方が多い。自分の作品が発表できる場合は本人の励みにもなるし、販売できること、買ってくださる方がいらっしゃる事が喜びにつながっています。

色々なことを体験してみたい。

ダンスが好きで南区のM-1グランプリやD-1グランプリに参加している。

音楽やダンスなどをして楽しむことはもちろんですが、演劇などで自己表現をする方もいます。

はがき絵、書道の講座を開催している。現在は中止しているがハンドベルや合唱の講座があった。

脳血管疾患を患い、後遺症のある方が通われる施設のため、リハビリを兼ねた活動に興味があります。

よさこいソーラン節を踊りたいという意見が利用者から出ています。

芸術に興味がある利用者がいる。

やってみたいという人が多そう。

利用者本人の趣味。

自分のペースで取り組める。保管しやすい。

ダンスは音楽リズムに合わせて踊るのが好き。（休み時間、利用者のリクエストで音楽を流すと踊りだす）、演劇は自己表現、お話しするのが好き。

運動。障害重・軽い関わらず、皆が取り組める。楽しいため。

通所者の皆さんで音楽が好きな方は多い。簡単な楽器で思い思いに表現できたらステキだなと思ったため。

リハビリの意識。達成感。楽しみ。

癒されるからだと思います。

「障害者を対象とした」というのが、どういったものを指すかわかりません。障害者を対象としていなくても利用者が興味ある文化芸術に参加していると思われます。（絵画、音楽）

歌や音楽、ダンスに興味のある利用者さんが多いため。

みなさんが参加できるプログラムとして実施しています。比較的に参加者が多いので興味を持っているなど感じています。

押し花。

楽しい。区役所でやっていてよかったから。デイケアで出会えてよかったから。言葉を超えて多くの人とコミュニケーションを、自分を表現する事ができることに魅力を感じる（音楽）。

自宅での余暇活動であるため。

個々のペースで楽しむことができる。

絵画は昔から自宅で描く習慣のある人が多く愛着を持っている。ダンスはテレビを観て興味を持たれている様子。

身体を動かすのが好きな利用者さんが一定数いて、歌や踊りや楽器の演奏なども積極的に参加している。

自己表現のできるアート、ダンス、演劇（音楽）は、根本的に好きなことであり、自己解放ができると考えられる。

ぬりえ：色を選ぶ楽しみがある。絵を描けない人も楽しめる。音楽：一緒に演奏する楽しみ。喜びがあ

る。動画づくりの希望あり。

ビーズ作品など作ることが好きな利用者が多いため。

アート、物作りが好きな利用者が多いため。

月間プログラムで金曜を中心に創作・芸術活動をしている。利用者の方々は創作に意欲的な方や音楽・演劇などに対し幅広く興味を持っている。

インターネットで音楽を聴いたり、動画を観て楽しんでいる。工作をする時間があり積極的に参加されているので。

ことばはないが楽しそうに行っているため。

楽しい、達成感、共同作業など。

絵画では独自の世界観で自由に描くことができ素晴らしい作品を描いている。毎月のカレンダーを作成（同じ利用者）している。音楽では休み時間になると自分の世界に入り楽しそうに熱唱されている利用者がある。手話ダンスは毎年1回の発表会に向けてそれぞれ一生懸命練習し楽しみにしている。

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえらるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	37	55.2%
2. 希望しない	29	43.3%
無回答	1	1.5%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

「する」作業を希望しない利用者もおり、文化芸術のみを求めて来所する方もいるため。

「する」先生を探すのが大変。

「する」これからの活動に力を貸して頂ける場合お願いしたいと思います。

「する」施設外の指導者・専門家の方の知見を教えてくださいたり、プログラムの1つとして利用者が楽しめる芸術活動をしていただきたいため。

「する」音楽的な講座を取り入れたいと（音楽と触れる）考えている。

「する」新しい体験も取り入れたい。今までの活動も継続はします。

「する」内容と講師謝金にもよりますが、興味がある活動があれば。

「する」内容によって。

「する」新しいことにもチャレンジしてみたい。

「する」希望したいと考えてはいますが、コロナ禍で通常の予定も変更や制限されており、日程や活動内容を検討するのに苦慮しています。

「する」職員が指導していくには限界がある。（職員は介護のプロですが、芸術面のプロではないので。）

「する」ただしもっと具体的な説明を聞かせて欲しい。

「する」職員では限界があるため、新たなステージを見せて欲しい。これはあくまでもstaff目線で通所者の方はどう感じるかわかりません。

「する」リハビリの意識、達成感、楽しみ等への取り組みのため。

「する」障害者対象、専門指導が必要と考えます。

「する」文化的活動に興味がある。またその様な活動を享受する素養がある。（利用者）

「する」利用者の気分転換となると考えています。

「する」つてがなくても来て頂けるのはありがたい。

「する」その道のプロの方に指導して頂きたいが、講師料等の折り合いがつけば希望したい。

「する」横浜ラポールの陶芸教室が現在行っていないとのことなので、余暇活動として実施できると嬉

しいです。

「する」文化・芸術活動への参加は個人差があり活動のチャンスが全くない方もいるため、施設の活動時間内に行えたら望ましい。また、施設職員では考えられる内容に限りがあるうえ、外部からの先生が来ることで利用者達のやる気が大きく変わるため。

「する」利用者さんが興味がありそうな分野の指導者さんがいれば単発でいるんな方に来て頂けたらと思うので、とりあえず紹介をして頂けたらありがたいです。

「する」新たな表現の幅を広げられ、人間関係の広がりが見られる。

「する」コロナが落ち着けばいろいろな方との交流を持ちたいから。

「する」経験したことのない新たな楽しみを見つけるため。

「する」職員だけでできることには限りがある。専門知識がない。職員が指導で活動するより、専門家が指導する方が利用者が熱心に活動する。

「する」自己流で行っているの。

「する」利用者の皆さんが参加できる活動がありましたら希望したいです。

「する」障害理解のある方から指導していただき、利用者から羊毛フェルト、墨絵など講師から教わりたいたいという要望がある。

「する」職員の提案や技術には限界があり多様な興味や才能のある利用者の方々に新しい文化・芸術活動をぜひ教えていただきたい。どうぞ宜しくお願いいたします。

「する」潜在能力や興味の開発と楽しみの拡大。ただし、コロナ感染には配慮の必要あり。

「する」指導をしてくださる方がいたら利用者の可能性がもっと広がり、自信に繋げることができると思います。活動以外で文化や芸術に触れて楽しんで頂き、余暇活動の幅を広げて頂きたい。

「する」謝礼費コストをおさえないので。専門領域に特化した専門家から受講したい。

「する」新型コロナウイルス感染防止対策のため、外出等の活動を中止せざるを得ない状況です。普段の活動にコロナ対策をした上で新規事業を取り入れたいと考えています。例えば、ペン字の講師を探していますが、健常者向きの指導者よりも障害（片麻痺など）にご理解のある方が良いと思っていますので、情報または相談する場がわからず困っています。

「しない」決まった時間設定が現時点では難しい。希望者が多ければ今後検討したい。

「しない」現時点ではプログラムを組む日程に空きがない。

「しない」ラポールへ行けば体験できる。

「しない」利用者が興味を持たないと思うから。

「しない」事業所活動の中心が内職作業のため、団体もしくは生活支援センターで行うイベントに参加してもらうようにしているため。

「しない」コロナ禍により現在はできるだけ外部の方との接触をさけているため。

「しない」コロナの渦中にあるため現在は考えられません。

「しない」文化芸術活動を好まない所員もいるため全体での活動は難しいので。

「しない」絵やダンス、その他芸術活動の思いは個々違う事や芸術活動に興味の薄い方もあり、指導者の方にご迷惑をかけてしまう可能性があります。

「しない」既に指導者がいるため。（新たに活動を始める際には検討したいと思います。）

「しない」現状はボランティアや講師が揃っております。

「しない」現在は文化的な活動に積極的な利用者さんが少ないので。

「しない」謝金の予算が難しい。

「しない」指導者の派遣による費用が不明なため。

「しない」すでに教えてくれている方がいるので。

「しない」その時の状況による。

「しない」本格的ではなく余暇時間に楽しむ程度なので。

「しない」すでに指導の方はいらっしゃるのでも内容にもよります。また、コロナで密にならないよう出席も制限していますので、そのあたりの事がクリアにならないと先が見えてきません。

「しない」今はコロナ感染のリスクがあるし、スタッフの中に得意なものがあるので。

【質問9】

貴施設・団体で実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	63	94.0%
2. 以下の条件	1	1.5%
無回答	3	4.5%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

回答なし

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

（※○印は個人名、□は団体名）

音楽療法士（個人）

○○さん

（芸術）活動プログラムの講師などでしたら、市内の芸術大学、専門学校生の派遣などを学校へ依頼すれば応じて頂けるのではと考えます。

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

（※○印は個人名、□は団体名）

毎年、県民ホール、横浜そごうへ作品を展示していただいています。1年をかけ利用者全員で作品制作をしています。（R3年、ビートル手芸、マット制作）最寄り地下鉄駅構内で絵手紙の展示。

水彩画。

絵画、刺しゅう。

絵が好きな利用者はおります。

書道etc。

鉛筆画など。

アーティストではありませんが、利用者で水彩画（特に人物）が上手な人がいます。

○○（□□）、○○（□□）。

当施設に在籍の利用者（アーティスト）の女性、絵画や漫画作品を手掛けています。よろしくお願いたします。

個展、グループ展どちらも出展したい。

○○（絵画、イラスト、歌、創作など）、○○（絵画、イラストなど）、○○（絵画、Tシャツアートなど）他のメンバーの方も絵画や書、創作ダンス、能の演劇など。

絵画：○○。

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	3	15.0%
2. ない	17	85.0%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	1	33.3%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	2	66.7%
5. 音楽	2	66.7%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	1	33.3%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	2	66.7%
12. 陶芸	1	33.3%
13. その他	0	0.0%

⑥ 障害者グループホーム

発送数：709 回収数：77 回収率：10.9%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	17	22.1%
2. ない	60	77.9%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

当初からそのような活動を行う予定がないため。

生活の場なので、活動は日中で行ってもらっています。

個人の生活を大切にしてもらうため。

取り組む機会がありませんでした。

利用者様が個人で外部の団体に参加されている方はいらっしゃいますが、ホームとして全体で取り組む機会がなかった。

イベント開催を実施していないため。

施設としてはないのですが、手芸の得意な利用者さんが作業所で支援センターの作品展に出品し、人気投票1位になったり、コロナ禍で作業所で絵を描き始め才能が開花した利用者さんもいます。その方が絵を描いたTシャツがとても可愛く好評です。

当事業所は住居なので入居者それぞれが趣味にあった活動を行っており、個人のニーズに応じて支援している。

利用者から希望がないため。作業所でなくグループホーム（生活の場）であるため。

機会がなかった。

グループホームの利用者の皆さんは、日中活動で絵画制作や手工芸に取り組んでいるので、ホームに帰った後はゆっくりおくつろぎ頂いているから。また、利用者様の何人かは月に1回ダンスのサークルに通っていらっしゃる。

人員体制上困難である。

日中の作業所（各所）において活動を行っており、作品等を作成、提出したりしている。グループホームとしては活動はしていない。

入居者は重度知的障害または重度重複障害のある方々のため。1名は軽～中度の知的と精神障害をお持ちで、その方は個人的に地域のサークルで創作品を作った事はある。または施設の活動で塗り絵をされている。

グループホームを運営している法人であり、入居者は日中、作業所やデイケアに通所されているのでグループホームに帰宅されるのは午後以降となる入居者が多く、グループホームは生活の場との考えから、文化芸術活動に興味のある入居者はその様な活動をしている日中活動先を紹介するようにしていて、グループホーム内では芸術等のプログラムは行っておらず、各自自由に生活してもらっているため。

障害者を対象とした文化芸術活動に対しての取り組み方も分からない。指導者もない。月に1回くらいは利用者と楽しい時間が持てれば良いですね。

私自身が勤め始めて6か月のため取り組んだことはございません。

入居者の皆さまがそれぞれ日中活動が違っており、職員の勤務も夕方16:30～翌朝9:30までなので取り組みは困難と思われる。

障害者を対象とした文化芸術活動を把握していなかったため。

グループホームのため。生活の場であるため。法人の他事業所では文化芸術活動を行っている。（B型、

地活)

指導者がいない。

入居者全員の理解が得にくいため。

生活の場なので特に取り組んでいません。

個人ではありますが、団体として取り組んだことはありません。

ラポールの行事にガイドヘルパーさんと参加している。興味のあるスポーツやイベントを選んで利用している。

住まいなので。

文化芸術活動の具体的活動がよくわからない。入居者からニーズがない。

個々の予定があるため、なかなか取り組めない。

コロナ禍で集団で何かを行うという機会を持てなかったため。

グループホームなのでその機会がない。

グループホームなので障害者の生活の場であるため。

特に理由なし。

日々の生活に追われ、個人の自由にまかせている。横浜ラポールは何人か使用している。

グループホームであり、生活の場であるため、文化活動は行っていません。

そのような活動があるとは知らなかったです。

入居利用者より要望等ないため。

時間に余裕がなかった。

グループホーム利用者、同じ作業場へ通所しています。通所先にて活動に取り組んでいます。現在グループホームでは取り組んでいない状況です。

日常の支援で手一杯のため。

日中活動の場等で個々に「文化芸術活動」にふれているため。

職員体制の都合。日中は基本的に他施設に皆さん通所されているため。

個人的にホームの中で塗り絵を行ったり体操したりがしていますが、芸術的な事は今まではしてきていません、近い未来、小物づくりが得意な方もいるので取り組んでいきたいと思えます。

【質問2】

それはどのような内容ですか。(複数回答可)

	回答数	割合
1. 絵画	12	70.6%
2. 版画	1	5.9%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	5	29.4%
5. 音楽	13	76.5%
6. ダンス	6	35.3%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	1	5.9%
9. 写真	3	17.6%
10. 映像	1	5.9%
11. 手工芸	5	29.4%
12. 陶芸	2	11.8%
13. その他	7	41.2%

園芸、折り紙、華道、茶道、スポーツ、アート作品の展示、朗読会、体操、はり絵。

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	14	82.4%
2. 外部講師	8	47.1%
3. ボランティア	8	47.1%
4. その他	0	0.0%

（※○印は個人名、□は団体名）

区民センターの人材、都筑区川和町○○先生（地域伝統芸能、体操、ダンス等）。

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	0	0.0%
2. 週1回程度	2	11.8%
3. 月1回程度	6	35.3%
4. 3カ月に1回程度	1	5.9%
5. 半年に1回程度	4	23.5%
6. 1年に1回程度	4	23.5%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	8	47.1%
2. ない	9	52.9%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

法人カレンダーに掲載し、近隣住民に配布。

法人事業所の店でギャラリー貸し出し。

事業所内。屋外スペースをレンタルで。

地域のコーヒー屋。

ココロはずむアート展。

地域ケアプラザ、SCMときわとか、コミュニティーハウスおさんとか、法人施設。

横浜市作業所連絡会。

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	8	47.1%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	6	35.3%
5. 音楽	12	70.6%
6. ダンス	5	29.4%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	3	17.6%

10. 映像	1	5.9%
11. 手工芸	2	11.8%
12. 陶芸	2	11.8%
13. その他	5	29.4%

園芸、アート作品の展示、朗読会、体操、工作。

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	8	47.1%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	3	17.6%
5. 音楽	13	76.5%
6. ダンス	7	41.2%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	5	29.4%
10. 映像	3	17.6%
11. 手工芸	5	29.4%
12. 陶芸	2	11.8%
13. その他	2	11.8%

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

乗り物が好きな方が多いため電車やバスなどの絵、映像は喜ばれると思います。

チャレンジした経験がありイメージしやすいのだと思います。日常的に手芸されている方多いです。スポーツ。

体を動かすことは良いことだと思う。

サービス対象が重度障害者のため、耳で楽しむことができる形が好まれる。

体操：指導者を気に入っているから。短い時間で楽しめるから。

過去のイベントで反応が良かった。

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	11	64.7%
2. 希望しない	4	23.5%
無回答	2	11.8%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

「する」利用者さんの興味のある分野で、予算内でおさまるのであれば希望したいです。

「する」陶芸を教えてもらいたい。

「する」利用者さんのリフレッシュ。

「する」重度障害者の何らかの影響が及ぶことが想定されるテーマを企画しています。費用の事もあり

ますが、良い講師をご紹介頂ければと思います。

「する」新しい取り組み、また継続できる活動をしていきたいため。

「する」利用者の余暇活動（特に週末）を充実させたいのですが、人手が不足しているためです。

「しない」現段階では、内内でやっているの。コロナのこともあり派遣は大丈夫だと思います。

「しない」ホーム利用者でかつては外出されていましたが、今は高齢になり単身での外出が難しい方が増えたので自分のペースで楽しめるものや、ホーム内で楽しみを充実させたいです。

「しない」個人のルーティンにまかせている。

「しない」現状の指導者との関係が良好のため。

「しない」希望したいが現実には活動時間の設定が難しい。利用者にはダンスを習いに行きたい方がいる。

【質問9】

貴施設・団体で実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	16	94.1%
2. 以下の条件	0	0.0%
無回答	1	5.9%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

回答なし

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

（※○印は個人名、□は団体名）

○○さん

陶芸、編み物→○○さん、ステンドグラス（まだ本人には連絡していない）○○さん

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

（※○印は個人名、□は団体名）

書道ほか。

当法人グループホーム入居者（KTさん）缶バッジなどの制作。

○○さん：刺しこ。

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	6	10.0%
2. ない	54	90.0%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	4	66.7%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	1	16.7%
5. 音楽	3	50.0%
6. ダンス	1	16.7%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	1	16.7%
10. 映像	1	16.7%
11. 手工芸	2	33.3%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	1	16.7%

ご利用様が興味あるものがあつたら行いたいと思います。
やれたらいいなという希望です。

⑦ 障害者支援施設

発送数：29 回収数：4 回収率：13.8%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	4	100.0%
2. ない	0	0.0%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

回答なし

【質問2】

それはどのような内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	3	75.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	2	50.0%
5. 音楽	2	50.0%
6. ダンス	1	25.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	1	25.0%
11. 手工芸	2	50.0%
12. 陶芸	1	25.0%
13. その他	1	25.0%

フットサル。

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	4	100.0%
2. 外部講師	1	25.0%
3. ボランティア	2	50.0%
4. その他	0	0.0%

(※○印は個人名、□は団体名)

○○さんに依頼したワークショップ、○○さん、○○さん、○○さん、○○さん。

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	1	25.0%
2. 週1回程度	0	0.0%
3. 月1回程度	2	50.0%
4. 3カ月に1回程度	0	0.0%

5. 半年に1回程度	0	0.0%
6. 1年に1回程度	0	0.0%
無回答	1	25.0%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	3	75.0%
2. ない	1	25.0%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

文化祭と称して栄公会堂をお借りし、歌の発表、作品の展示を行っています。
法人新聞、利用者自治会、大会。法人で運営するカフェにて展示している。

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	1	25.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	2	50.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	1	25.0%
12. 陶芸	1	25.0%
13. その他	0	0.0%

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	1	25.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	3	75.0%
6. ダンス	1	25.0%
7. 演劇	1	25.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	1	25.0%

11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	1	25.0%
13. その他	0	0.0%

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

音や動きは分かりやすく、刺激を受けていただけるので重度な方が多い当施設では取り入れています。

音楽は障害の重軽に関わらず何かしらの反応を得られやすいように思います。音が不快に感じる利用者もいるので、一概には言えないところもあります。

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえらるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	4	100.0%
2. 希望しない	0	0.0%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

(※○印は個人名、□は団体名)

「する」ボランティアのような形であれば私たちの支援にはないものの提供はとても嬉しいです。今年度も□□さんとのワークショップは実施するので費用のかかるものであれば捻出はむずかしいです。

「する」有難いです。新たな出会い、外部の人からの学ぶという期待感があると思います。

「する」あまり取り組んだことのない活動であれば、新しい活動のきっかけになるかもしれないので。

「しない」今の利用者支援で手一杯の感もあります。なので、いざ来ていただくようになっても、それなりの熱量を持って活動を継続していけるか心配です。希望したいような希望しない方が良いでしょう。

【質問9】

貴施設・団体に実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	4	100.0%
2. 以下の条件	0	0.0%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

回答なし

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

回答なし

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

回答なし

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	0	0.0%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

⑧ 障害者福祉サービス事業所

発送数：474 回収数：199 回収率：42.0%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	122	61.3%
2. ない	77	38.7%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

障害に特化せず若者支援団体として取り組んでいるため。

就労に直結する行事に注力をしていたため、特に文化芸術活動に関わる機会を設けてこなかったため。機会があれば内容によっては前向きに検討し取り入れていきたい。

作業活動に重点を置いているため。開所からまだ2年と日も浅いため。

サービス内容にないため。

就労継続支援B型で受注作業がメインのため。

生活訓練を目的とした施設のため、個々の生活が最優先となるため。余暇的な活動はグループとして取り組んでいないため。

就労継続支援B型事業所なので、作業など就労活動の提供を第一に考えているため。

プログラムとして行ったことはあるが、文化芸術活動という感じではなく、みんなで楽しむ、自分の得手・不得手を確認する。作品を作ってみるといった事が主な目的のため。

知らなかった。

どのような取り組み方をしてよいかわからない。

就労継続支援B型事業で作業を中心に行っているため。

金沢区区作連に参加している。芸術活動を単独ではやれていないが、連として参加したことがある。特に機会を持つことがなかったため。

そういう趣旨の活動をせず、受注作業中心にやっているので。

受注作業中心の事業所のため。

利用者は全員区分6で知的にかなりレベルが低いか、著しい行動障害のある方々です。文化芸術活動に取り組むには難しいと思っています。

就労継続支援B型。移行という就労支援施設として運営しており、取り組みたい思いはあるが、施設の役割、バランスなど考えると積極的に実施できない。

就労するための訓練を行っている施設なので。スポーツは横浜ラポールを利用させていただきました。(ボウリング、バスケットボール、フライングディスク)

復職支援を主な活動としているため。レクリエーションや活動の導入など取り組むことはあります。取り組む機会がなかった。

指導・支援ができる体制がないため。

職員間において文化芸術活動に取り組んでいく余裕がなかった。

その機会がなく実施できていません。

機会がなかった。

事業目的にないため。

どういったものが対象なのか、いまいち分かっていないため。また、就労移行の支援の一環で行うことが難しいため。

施設の支援プログラムがそれに該当しないため。

開所4年目になる施設ですが、経営など安定しはじめた矢先、コロナ禍。いまだ、文化芸術活動に取り組む余裕が無い状態です。

特になが書はある。アルコール依存症回復のプログラム中心のため大人の時間を職員が作れないこともある。

日中の活動として受注作業や教材を使用した作業を中心に取り組んでいるため。

当事業所は店舗経営を行っているため。

行う機会がないため。

取り組み方、場所などがわからない。

泉区内の福祉作品展。第2つぼみの家内での出し物発表会などには参加しています。（絵、刺し子、ダンスなど）

自己理解やコミュニケーションに関するワークをメインに提供しているため。

仕事の間としています。

就労移行支援サービスのため、就労準備が中心となり、余暇活動は限定された時間数内でのサービス提供となるため。

身体機能等から自発的に参加する事が難しいため。

作業中心とした事業所の為。

就労支援として店舗型のパン屋と外販を活動の主としており、プログラムの取り入れることが難しい。

文化芸術活動は余暇活動になると思いますが、日中活動中にできることなのでしょうか。文化芸術活動となるとハードルが高いように感じます。どの程度の指導（支援）の度合いで、その人の作品となるのか難しい判断だと思います。

興味を持つ利用者がいないこと。また、プログラムに取り入れる時間の余裕がありません。

チャンスがない。

情報収集を積極的に行っていないため。

興味関心がうすいです。

就労継続支援B型事業所であり、あくまでも工賃向上や社会性も向上を中心とした事業を展開しているため。

当事業所は2020年4月、横浜市中福祉授産所の民営化により開所したばかりです。コロナウイルスもあり時間的余裕がありませんでした。

文化・芸術活動に携わる職員やボランティアがいないためノウハウがない。

障害者のみを対象とはしておりません。法人には地域住民や患者様から構成される「友の会」があります。そこで、フラダンス、体操、小物づくりなど活動がなされております。

現状的に厳しい。

受注作業を主とした就労継続支援B型事業所であり、文化・芸術活動に取り組む時間が取れない。

機会がなかったため。事業の性質上、優先順位が低い為。

興味を持たれている方がいない。

開所し2年間、コロナ対応等でなかなかそのような活動ができなかったため。

以前サンライズが地活だったころは少しありましたが今はありません。就労Bで厨房と内職活動で手いっぱいです。同じ法人で地活「egao」があり、そちらではアート活動を盛んにやっております。

活動として成り立ちにくい。

芸術活動を行ったことはありますが、障害者だけに限定した活動ではありませんでした。

イベント自体は聞いたことがございましたが、訓練の中にどのように取り入れていくかを検討できておりませんでした。

受注作業が中心のため。

取り組む機会がありませんでした。

日々受注作業が忙しいため。

希望者がいない為。

【質問2】

それはどのような内容ですか。(複数回答可)

	回答数	割合
1. 絵画	81	66.4%
2. 版画	2	1.6%
3. 彫刻	1	0.8%
4. 書	34	27.9%
5. 音楽	48	39.3%
6. ダンス	53	43.4%
7. 演劇	7	5.7%
8. 伝統芸能	5	4.1%
9. 写真	10	8.2%
10. 映像	9	7.4%
11. 手工芸	53	43.4%
12. 陶芸	15	12.3%
13. その他	32	26.2%

織物、手話ダンス、ビーズ教室、フェスタおまつり、貼り絵、茶道、機織り、アート全般、手芸、詩、リトミック、スポーツ大会、手話、パントマイム、紙すき、英会話、フラワーアレンジメント、プログラミング、和太鼓、園芸、ちぎり絵、さをり織り、染め物、消しゴムスタンプ、張り子、張り子お面、段ボールアート、文芸、華道。

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。(複数回答可)

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	96	78.7%
2. 外部講師	41	33.6%
3. ボランティア	39	32.0%
4. その他	2	1.6%

(※○印は個人名、□は団体名)

元職員の知り合いが手話サークルに入っており、その人に来て頂いています。(1人)

個人で陶芸教室をされている先生に講師を依頼しています。

□□(作業のビル3階で○○さんが行っている絵画教室)。

手工芸展などに出展するものは施設職員と取り組んだものなどで参加した。また、作業内容として手工芸(フェルトイードッグ等)取り組んでいます。

「書」「音楽」「リトミック」などは個人で他のところでも教える講師で「ダンス」は□□依頼。

(陶芸講師)○○氏。

音楽・○○、創作・○○、ダンス・○○。

その時は陶芸教室でしたが、社協に登録していたボランティアセンターより探してお声がけさせて頂きました。地域で陶芸教室をしている先生でした。

□□、音楽療育でんでん虫に参加。

区役所に登録されている町の先生から選ばせていただき、体験を行い、条件等がマッチした場合にお願いしています。

旭区市民活動支援センターみなくるで紹介してもらった。

手話の先生。ダンスを教えてください先生です。

区役所の生活教室で教えていた先生を紹介してもらい月1回来てもらい教室を開いてもらっています。園芸療法を学んだボランティアさんに月2回園芸教室を開いてもらっています。

臨床美術士等。

□□教室。

保土ヶ谷スポーツセンター、ホルン奏者〇〇、横浜市川島地域ケアプラザ、横浜市仏向地域ケアプラザ。

職員の家族の知り合い。

タップダンス〇〇さん。NPO法人□□。

□□。

関係者による紹介での「個人」の方の為記載できません。美術（月1回、1名）、音楽（月1回、1名）

□□。

□□。

ボランティアの方・地域の絵画教室の先生など。

タップダンス、ダンス、バンド、陶芸、さをり織り。

書道：〇〇さん。

2017年：神奈川県障がい者芸術センター（STスポット）さんご紹介にて□□（音楽）、2020年：KAAT、2021年：WAM助成+旭区自立支援協議会日中活動部会の紹介で〇〇さん（ダンサー、演出家）。

□□のartを担当されていた方。

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	19	15.6%
2. 週1回程度	23	18.9%
3. 月1回程度	39	32.0%
4. 3カ月に1回程度	9	7.4%
5. 半年に1回程度	13	10.7%
6. 1年に1回程度	16	13.1%
無回答	3	2.5%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	77	63.1%
2. ない	44	36.1%
無回答	1	0.8%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどこですか。

お祭りなど。

各教室（習いごとの場）。

法人内にある生活介護事業所の1つにギャラリースペースがある。年に数回、企画展を実施。

泉区福祉の作品展。

近隣の福祉施設やイベント。

にぎわい座、のげチャーレ。

年に1回、泉区役所内での福祉作品展のみです。

きょうされん（全国の障害者施設が加盟している団体）のコンクールに毎年応募。入賞するとカレンダーやTシャツ、タオルなど色々な物、グッズの絵として使われる。

施設のおまつり。

ラポール、ロータリークラブ。

港南区が主催する「港南アート展」に出品している。

区の連合などで発表させていただくチャンスがある。

区民文化祭。ふれあい文化発表会。

「きょうされん」主催「支部祭り」「コンクール」。「市作連」主催「集い」。

「書」は近隣の寺で展示会を行う。

中区障害者作品展。

年に1度（株）インキューブ&リリースHLDGS主催の「障がい者の作品展」へ出展させて頂いています。そごう横浜で開催するのをご利用者もスタッフも楽しみにしています。

法人で展示会を実施（毎年12月頃）。

経営する喫茶店の壁。

近隣歯科（貼り絵の掲示）、ケアプラザや法人施設、区作連、法人のイベント。

企業へレンタル展示。山手西洋館のギャラリーを借りて作品展を実施。

障害者週間、鶴見区役所にて障団連主催展示。

ココロはずむアート展。

書道、工作、絵画、手工芸の作品は区役所で場所をお借りして作品展を行っています。和太鼓、手話、ヒップホップについては、適当な場所が探せていません。

横浜ラポール（区作連の企画など）。

ラポールの作品展、保土ヶ谷区役所の区民ギャラリー。

区民文化祭作品展、ふれあい文化発表会。

年に1回の市作連ふれあい作品展、D-1グランプリ（過去1回出場）、パラリンアート。

販売顧客様とのコラボで店舗を借用した「ショコラボ展」の開催をしたり、各方面で障害アート募集等があれば個人参加して頂くなどしております。

公共施設、自事業所。

（寿交流協会）中区寿町健康福祉交流協会。

コロナウイルスの影響で現在はないが、それ以前は地域のまつりや旭区自立支援協議会主催のイベント（D-1グランプリ）があった。

区役所での年に1回の結び織りの展示があります。

ロータリークラブが主催する作品展に出展しています。

地域の作品展など。

法人でバックアップするギャラリーにて活動や作品発表を行っている。

手芸品（刺しゅう）は販売をしています。

1F事務室前の棚に掲示。利用者の活動場に掲示。

地域のケアプラザ。絵本にして関係者への配布。

「きょうされん」主催のグッドデザインコンクールに作品を応募しました。受賞すると月間きょうされんTOMO、きょうされんホームページに掲載してもらえます。受賞作品の中からきょうされんのブランド商品（Tシャツやカレンダーなど）のデザインに使用される作品もあります。「きょうされん」は障害がある人たちが地域で生活することや活動することを応援する事業所の全国組織のため、毎年多くの作品がコンクールに応募されます。

市作連主催のふれあい作品展の参加。区の展示会・アート展の参加。港南台バーズの広場で展示会の実施。フラワーアレンジメント教室の最後に個々の作品発表。公式インスタグラムで写真を投稿。

近隣の小学校の作品展。区役所の作品展。

併設の岩間市民プラザ内ギャラリーでの原画展。

かながわ県民センターで開催された（数年前）「どういう訳かの作品展」に利用者さんの作品を出展しました。

横浜ラポール美術展。

ココロはずむアート展、新市庁舎展示（市民協働推進センター）

区社協主催の作品展。近隣小・中学校の芸術作品展など。
 地域の行事、灯籠祭り。
 横浜市内の事業所内（ココロはずむアート展）、緑区役所、当施設にて（ミニアート展）。
 第2つぼみの家内での出し物大会の他、泉区役所で福祉作品展D-1グランプリでダンス発表があります。
 施設バザー。
 関係のあるギャラリー、近隣の自治会施設など。
 ロータリークラブ等が主催する作品展。寿交流センターでの作品展。自店舗にあるギャラリーでの展示、法人広報誌の表紙・挿絵。
 ロータリークラブ等の催し、イオンの空きスペースへの展示、黄金町アートバザール。
 併設のカフェにて販売。
 通販、販売店。
 区の施設連合会など。
 区役所販売会、インターネット販売、バザー等。
 バザーや喫茶室。
 区役所ひまわりアート展。
 事業所内のギャラリー、外部展覧会への招待参加、公募展参加。
 SNS。
 障害者の集い・絵画教室の展示会など。
 区役所や中学校文化祭。
 当施設内：創作ダンス、タップダンス、陶芸。他福祉施設：バンド。他事業所事務所：さをり織り。
 ラポールダンス発表、区自立支援協議会主催イベントなど。
 区役所等の展示会。
 喫茶店ギャラリースペースで作品展示。
 地域活動センターegaoが主催した絵画展。
 障害者作品展示会。

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	76	62.3%
2. 版画	2	1.6%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	27	22.1%
5. 音楽	34	27.9%
6. ダンス	44	36.1%
7. 演劇	3	2.5%
8. 伝統芸能	2	1.6%
9. 写真	8	6.6%
10. 映像	6	4.9%
11. 手工芸	46	37.7%
12. 陶芸	7	5.7%
13. その他	26	21.3%

習字、織り、手話ダンス、ビーズ教室、フェスタおまつり、貼り絵、茶道、機織り、アート全般、リトミック、アパレル、手話、パントマイム、紙すき、英会話、フラワーアレンジメント、和太鼓、園芸、ちぎり絵、段ボール工作、消しゴムスタンプ、竹細工、生花。

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	77	63.1%
2. 版画	8	6.6%
3. 彫刻	7	5.7%
4. 書	18	14.8%
5. 音楽	65	53.3%
6. ダンス	64	52.5%
7. 演劇	10	8.2%
8. 伝統芸能	8	6.6%
9. 写真	24	19.7%
10. 映像	21	17.2%
11. 手工芸	48	39.3%
12. 陶芸	19	15.6%
13. その他	14	11.5%

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

作業だけでなく、文化活動に興味のある方が多い。自分の作品が発表できる場合は本人の励みにもなるし、販売できること、買ってくださる方がいらっしゃるものが喜びにつながっています。

絵画は気持ちののると素敵なものを描く利用者さんがいます。とても楽しそうです。ダンスは音楽をかけると体を動かしている様子がうかがえます。

個人的に習っている方がいます。

仲間と一緒に活動なので。

音楽クラブやコンサートなどの参加は多くの利用者さんが望んでいる。今できないことで、いつになったらできるのかと待っている。カラオケにも行かれないので、自宅等で動画を観たり、テレビを観ながら歌や音楽を楽しんでいる、というお話しをご家族から伺うことが多い。

版画を希望している人がいる。

利用者個人の活動を行っている。

全体で活動できるダンスはみんな大好きです。

音楽やダンスで体を動かすことが好きです。障害者の集会やイベントなどでは前に出て踊っている利用者もたくさんいます。手工芸は自主製品としてミサンガやビーズ製品を作っていました。

盆踊りが好きな方が多い。

アート全般。

ダンスを習っている利用者がある。

活動中の様子で利用者の方が大いに楽しんでいる。

土曜日にお楽しみ会を開いております。その中で自主的に声が出る内容です。チャンス、指導者がいればやりたいと考えています。

笑顔がよく見られる。集中力が続く。

利用のお子さんが絵が好きで多いので体験させてあげたい。

利用者さんの可能性を追求したい。

リトミック。

絵を描くこと、細かい作業が得意な方が多いため。アートセラピーや作業訓練としての意味合いで実施することができ、ご利用者様自身が「働く」に向かっている感覚を得られやすいため。

日中活動以外の習い事としてダンスをやられている方や写真を撮る方がいます。

行事の際、カラオケやショー等の鑑賞に興味のある様子が見られたため。

やりたいことができる。楽しい。

話しによく出てくる方がいるので。

すべて熱心に取り組んでいます。練習等の積み重ねで上達する内容については特に興味を持つと思っています。また、講師の方の指導力も大きく影響し、やる気を引き出す事が大切だと思います。

ぬりえや絵を描くのが好きで休憩時間を利用して描いています。20代の利用者が多く歌や映像を見て体を動かす方、ダンスする方、歌を歌う方がいらっしゃいます。

昔からやっていた。家族（親兄弟など）から教わった思い出がある。過去に好評価を受けたことがある。

絵を習っている方が数名いること。実施が可能であること。

通所利用されている方の中には、絵画や創作工芸品が好きな方が多く、プロ級の方もおられます。

楽しいから。身体を動かすことが好きだから。

物を作り上げる喜びが形（立体）として現れるから。

単純にその活動が好き（楽しい、体を動かすことが気持ち良い）。他の利用者と楽しく一緒に活動できることが嬉しい。自分の技量が上がる（上達）ことが嬉しい、やりがいがある。出来上がった時、達成感を味わえる。

音楽やダンスは好きです。

普段のご利用時のご様子より（音楽に対しての反応が良い）

ちぎり絵。ご利用者の好きな模様や柄を刺しゅうで作れるところが好きだと思います。

1と5については既にプログラムに取り入れているが、より充実させたい為。

皆さん楽しい音楽に合わせて踊るのが大好きです。

絵画：以前施設で絵画教室を開催したことがあり、「またやってみたい」という意見がありました。版画、陶芸：1度も経験したことがないので「やってみたい」という意見がありました。

1：事業所にあるペンの種類やカラーバリエーションを充実させているため、利用者も好きなペンを選び描くことで描くことの楽しさにつながっている。5・6：自分の好きな音楽を聞きながら自由に身体を動かすことで心身のリフレッシュにつながっている。11：自分の描いたイラストを製品として手に取って頂くことで喜び、モチベーションにつながっている。自分の好きな色の糸を選べる。

表情が変わる（明るく）様子が確認できているため。自ら身体を動かす場面を見ているため。（音楽に合わせて）

表情、仕草等からの類推です。

絵画は自己表現ができるから好き。描いた絵をほめてくれるから嬉しい。

音楽やダンスが好きな利用者が多い。塗り絵や貼り絵など作業がわかりやすい。

ご利用者様が歌、音楽が好きな方が多い為。

音楽・ダンスは音と動き、楽しい雰囲気だと思います。絵等は見てもらえる喜びもあると思います。

ダンスが好きな方は多いです。

映画、音楽鑑賞が好きです。

アートの部門があり演劇WSもしている為。

音楽が好きな利用者さんや体を動かすのが好きな方が多いです。

スマホやデジカメなど使える方も多数いるので写真展や撮影した作品を編集するなど、興味を持つのではないかと思います。

趣味として行っている方が複数いる為。

デイケアのプログラムでダンスをしていると嬉しそうに話していた。

文芸・同人誌。法人全体で見た場合に書きためている人、個人誌出版した方、作家志望の方が多くいる。道具など準備なく始められるところ。もともと関心がある方が多い。

休憩時間などで自席で行われている。

利用者の性格により好きなことが違う。音楽は大体好きな方が多いが、ジャンルによりまた個性がある。

以前から趣味で取り組まれていたり別の事業所でやっていた経験がある。

音楽は視覚障害の方でも行えるプログラムですし、発表の場としてYouTubeやインスタグラム等を使って映像を行うことになると思うので。

曲にあわせ踊る事が好きな様子。

幅広い年齢層に対応できそうな内容なので。

楽しい、皆でできる。

細かい作業が好きです。

日常の活動や会話などからの見立て。

手芸が好きだったりご経験のある方がいらっしゃる。

イラストを描くことが好きな利用者がいる。

ゲームやアニメを含め音楽が好きな方が多い為。

集中して取り組める。

体を動かす事が好きな方がいるから、絵を描くことが好きな方がいるから。

強度行動障害のある患者様へ障害の多様なレクリエーションを行っているが、上記の選択項目に対し、集中して取り組む様子が見られたため。

経験・体験したことがある。

音楽、ダンスのワークショップをした際、利用者が普段見せない顔で生き生きと体を動かしたり、歌っていたことが印象的でした。

絵画が得意で好きな方が発表する場があるといいと話しておられる。書はプログラムでありのびのび書かれている。手工芸は編み物の先生がいるので作品を発表できればと思っている。

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえらるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	73	59.8%
2. 希望しない	47	38.5%
区回答	2	1.6%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

「する」専門的な方から教えて頂く機会は利用者にとっても良い経験となるから。

「する」すでに指導の方はいらっしゃるので内容にもよります。また、コロナで密にならないよう出席も制限していますので、そのあたりの事がクリアにならないと先が見えてきません。

「する」利用時間を楽しく過ごし、本人の持っている物を引き出してみたい。

「する」以前、音楽クラブを担当してくださったボランティアさんがご高齢の為、いろんな方に教えて頂くことで音楽の楽しみ方が変わる、刺激になる。ボランティアさんの時とは違う体験ができる。障害のある方の特徴などを考慮してくださる先生を探すことが容易でないこともある。

「する」自己表現の一種として新たに習得してもらいたい。

「する」有償であれば金額（謝金）にもよる。

「する」新しいことにチャレンジし、利用者さんの可能性を広げたいです。

「する」どこまでの専門性なのか興味あります。

「する」今はコロナ禍のため行えませんが、今後機会があればやりたい。

「する」外部からの指導者が入ることで利用者に良い影響があるので。

「する」プロの指導者に「やれること」など、ご指導して頂けるのであれば、本人の「やれること」が増え「楽しむこと」につながると考えています。

「する」自分たちだけでは限界がある。色々と交流することで刺激になる。

「する」職員に専門的な知識がなく限界を感じているところ。外部の方が来てくれることで利用者も喜ぶことが予想される。

「する」指導者の方が集中して取り組んでもらえるから。

「する」当事業所で実施している芸術活動は陶芸のみ講師に来て頂いておりますが、他の活動は趣味の延長であり、自己流ですので技術的な面の指導等をして頂けると有難いです。（写真、絵画など）

「する」利用者さんの可能性を追求したい。

「する」指導員が教えられることへの限界や、作品制作に必要な備品も多数購入するのが難しいため。

「する」長期的なスパンで関わりを持って頂けるのなら希望する。単発だと指導者に慣れることさえも難しいと思いますので単発や2～3回は希望しません。

「する」就労Bを利用されている方が、興味の幅を広げ、生活にメリハリを持つことで作業活動への意欲を発揮できるのではないかと考えています。事業所の職員では至らない点も多いため、文化芸術の指導をいただき取り組めるチャンスがあれば利用される方の笑顔がより多くなると思います。

「する」芸術活動の中で集中力を培ったり、いつもとは違ったコミュニケーションをとることができたり貴重な場になることと思います。そういったプログラムを提供するには専門の指導者の方に来て頂けると大変心強く、ご利用者の皆さまのモチベーションアップにもつながるかなと思いました。

「する」担当職員がデザイナー出身や絵の教室を行っていたので、どちらでも構わない。

「する」専門知識のあるスタッフを探しているがなかなか見つからないため。

「する」ご利用者個人が独自で書いている絵などが多いので、専門の方にいらしていただき指導してくれる等の機会があれば利用したい。書は外部機関の活動に参加している方もいるので。

「する」これから新たに活動に取り入れられる内容であって、1回の指導時間、指導料等がマッチすればご依頼させていただく事ができます。

「する」新型コロナウイルス感染症対策のため、外部の方の入場を制限しています。障害者が出来る範囲の指導は希望いたします。

「する」専門家の方に教えて頂いた方が活動がより充実する。

「する」職員だけではできることに限界があるため。

「する」現在は職員が色々なことを調べたり、知恵を出し合いながら行っているので、専門家からのアドバイスをもらいたい。

「する」体も動かす機会が少ないので。

「する」利用者が希望する文化芸術活動と一致する指導者がいた場合。

「する」無償であるのであれば。

「する」施設職員だけでは知識や活動内容に限界があり、「余暇」の範囲を出ないので、専門の方の指導を頂きながら進めていけると良い。

「する」昨今、利用者のニーズから「余暇活動の充実」の必要性がある中、より専門者に指導してもらえると更に充実性が増す。

「する」利用者の方々に様々な体験をしていただきたいと考えており、文化芸術に触れる機会を増やしたいと思っています。

「する」コロナ禍が明ければ、思い切り声を出して体を動かせる機会を作りたいと考えている。感染状況により事業所内、家庭内で外出しづらい状況であり体を動かす機会が少なく体重増加が事業所の課題となっている。そのため音楽に合わせてダンスをしたり運動する時間の必要性を感じている。

「する」利用者の良い刺激となりそうなので。

「する」週1回の「サークル活動」で絵画や音楽、ダンス、写真の指導者に来て頂けるなら有難いです。ただ、突発的に暴力的になり先生（特に女性）の髪を引っ張ったり蹴ったりする方がいるので、そのような環境で来て頂けるのか心配があります。

「する」よりご本人の持っている能力を伸ばしたい。

「する」以前、企画の中でハーモニカの音をかなでた時があり、利用者様が楽しまれていたため。

「する」どのような形で受け入れ、実施できるのかといった具体的なプランがあるわけでは無いですが、外部の方との関わりや普段と違う活動を通して利用者様が様々な経験ができることは素晴らしいこ

とだと思いますし、積極的に受け入れるべきだと思っています。利用者様の新たな一面を知ることができるかもしれないので。

「する」活動をしている指導者の方を良く知らないなので今後の活動に生かしたい。

「する」積極的に利用者さんに参加して欲しいです。

「する」現在お願いしている指導者の方はいますが、個人の得意分野があり、その範囲外のものについては実施が難しいため、当事業所の利用者の活動範囲が（可能性）広がると思うので。

「する」販売（利益につながる）できるものならぜひ。

「する」案内してもらえれば前向きに検討したい。

「する」新しいことを取り入れることで楽しんで欲しい。

「する」施設外の人との交流。

「する」利用者にとって有効だと思う。

「する」指導してもらえればもっと良いものができる。

「する」知識や秘術を磨き、利用者特性に見合った、かつ魅力のある作品を生み出したいから。

「する」余暇活動として提供したい。

「する」実施内容には幅を持たせたいから。

「する」興味はあるが手続き的なことで少しだけハードルがありそうです。

「する」皆さんに色々な体験をしてもらいたいから。

「する」専門の職員がいない。

「する」専門家の指導の方が患者様の活動を伸ばす事ができそうだから。

「する」講師がいることで、職員が指導するのとは違う。いい意味での緊張感がある。本物に触れて欲しい。

「する」芸術団体、講師を施設のネットワークの中だけで探すことに限界を感じるため。加えて、講師への謝礼をどうするかでいつも悩んでいます。

「する」文化・芸術活動に興味を持ち発表することで生きがいや意欲がわくのではないかな。

「する」日中の活動の中で音楽などを楽しめる時間を設けたい。イベント参加や指導者という規模ではなく、一緒に楽しめるミニライブのようなものが開催できたら良いと思う。※コロナ禍が落ち着いたら考えていく。

「する」専門性の高いスタッフがいないため。

「しない」就労移行支援事業所の余暇活動支援として行うため、あまり大規模に予算をつけて実施できないため。

「しない」スペースがない。日中作業の関係でこれ以上増やすことはできない。

「しない」興味のある方だけでもと思うのですが、現在、3蜜をさけるため場所がとれません。

「しない」すでに居るので。

「しない」就労系事業所のため、多くの時間が費やすことが難しい。

「しない」あくまで現状はということで具体的なことが考えられていけば希望するかもしれません。

「しない」自前で行う。

「しない」利用者に文化活動は人気がないので、ここ数年は取り組んでいません。また機会がありましたら希望します。

「しない」派遣される方によるが自由に行っていききたい。合わないと思っても断ることが難しい。（ことがある）

「しない」事業としての活動プログラムは無いので、それぞれ個人の創作したものを出展しているため。

「しない」今はお願いする人がいるので。

「しない」指導員が足りているため。

「しない」どちらとも言えない。継続できるのか要確認。指導者が変わる（頻繁に）事は避けたい。日程調整等に時間が掛けられない。費用面。

「しない」外部の方が来て教えて頂く事は皆さん喜ぶと思います。しかし、今現在はコロナ禍で外部来

訪者の受け入れが難しい状況です。

「しない」 現在、コロナ禍で活動が著しく減少している為、みんな（利用者）で取り組める活動を実施していきたい。

「しない」 特に必要としない。

「しない」 指導者の派遣受け入れを考えていないため。

「しない」 現在も外部講師に委託している。

「しない」 主に菓子製造にあたっている為。主に手工芸をしている方は指導なく活動できている。

「しない」 現段階では充足している。

「しない」 今のところ特に指導者を呼んでまでしようとは思わない。

「しない」 同人誌の刊行実績と工賃作業が印刷業のためノウハウが積みあがった。

「しない」 自分たちのやりたい様にやりたいから。

「しない」 就労移行支援事業所という特徴上、趣味の範囲を超える文化・芸術活動の機会を設けることに、ゆとりがなかったり、メリットを感じられないため。

「しない」 通常は自主製品の製造、販売が基本なので余暇の時間をスケジュールに組むことが難しいので。

「しない」 興味のない利用者の方が混乱するから。時期を見て打合せを重ねてからの事になる。

「しない」 現状ではたまたまつながりのあった方に講師依頼をしているケースが多い為。

「しない」 理解力、継続する力が弱いので難しい。

【質問9】

貴施設・団体で実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	105	86.1%
2. 以下の条件	12	9.8%
無回答	5	4.1%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

対象条件ありません。どなたでも可です。

だれでもOKです。

特別な条件なし。基本的にはすべて受け入れる。

放課後などデイサービスなので小1～高3までの利用児。平日の月2回ぐらいで時間を合わせてもらえる方。

演劇などを練習して他事業所やイベントなどで発表できると楽しい。

障害の有無、年齢を問わず絵画教室を募集している。

現在はコロナ禍で外部からの参加を控えさせていただいているが、今後は社会資源として外部の方（地域の方など）も参加できるよう整備していきたい。

外部に募集をかけることもある。

基本は施設の利用者（障害のある方）ですが、以前（コロナ禍以前）は、近隣の同様施設や幼稚園、小学校の生徒さんを含めたワークショップを行うこともありました。（こちらから小学校に出向くこともありました。）

興味がある方であれば誰でも参加できます。

長期入院されている患者様・活動に興味を示している患者様。

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

（※○印は個人名、□は団体名）

ダンス講師会社（保育施設向けダンスレッスン）株式会社□□。

NPO団体。□□。

イラスト描きが得意な利用者が数名います。

□□に今も定期的に来てくださっている。

神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター。

区の市民活動支援センターの「街の達人」冊子から招聘したことがある。中区社協ボランティアさんのPC講師派遣を依頼した。

地域センター等で活躍されている講師。

○○音楽指導者（週1回来ています）。

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

（※○印は個人名、□は団体名）

□□、□□の利用者さんの絵画、刺しゅうの作品。□□の企画に参加された方もおります。インスタグラムにも作品が載っております。

いますが、まだ本人の気持ちは確認していません。切り絵プラス色鉛筆のマジックで絵を描きます。優しい作品でポストカード向きでしょうか。

（羊毛で作る）フェルティードッグ作りではとても上達しております。

絵画・○○さん、○○さん。

色鉛筆画を描く方が数名。

ゼンタングルアーティスト。中ロータリークラブ作品展・Art to youにて受賞歴あり。（ゼンタングルとは：簡単なパターンを繰り返し描くだけで誰でも美しいアートを楽しむことができるメソッド。）

通園している利用者全員の作品と同時に出展する取り組みをしています。各々、個性あふれる作品なので個別推薦はできません。

各方面のアート展で受賞する程の力がある利用者（男性）がおります。

○○さん（ペンネームでの出品を希望している）折り紙、絵。作品数が多くあるわけではないが、手の込んだ作品が数点ある。

○○（相田みつを的な詩、散文をイラスト付きで描きます。）○○（直線が主体となった絵画、丸が主体となった絵画）。

社会福祉法人□□。

絵、刺しゅう、陶芸など、決して上手とは言えませんが、利用者様が気持ちをこめて自由に楽しんで作ったアート品があります。また、利用者様のアート品を自主製品として販売したり、他作業所から受注を受けてアート品を缶バッジにする作業を行っています。

○○（舞踊）、○○（絵）。

絵画、デザイン。この利用者様のデザインされたグッズが非常に売れ行きが良い為。

絵や書道の作品は施設内で展示していることも多いです。（パステルを使った作品、ちぎり絵など）。

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	11	14.3%

2. ない	62	80.5%
無回答	4	5.2%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	7	63.6%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	4	36.4%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	3	27.3%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	2	18.2%
10. 映像	2	18.2%
11. 手工芸	5	45.5%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	1	9.1%

⑨ 福祉型障害児入所施設

発送数：5 回収数：0 回収率：0.0%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	0	0.0%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

回答なし

【質問2】

それはどのような内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	0	0.0%
2. 外部講師	0	0.0%
3. ボランティア	0	0.0%
4. その他	0	0.0%

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	0	0.0%
2. 週1回程度	0	0.0%
3. 月1回程度	0	0.0%
4. 3カ月に1回程度	0	0.0%

5. 半年に1回程度	0	0.0%
6. 1年に1回程度	0	0.0%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	0	0.0%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

回答なし

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%

13. その他	0	0.0%
---------	---	------

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

回答なし

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	0	0.0%
2. 希望しない	0	0.0%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

回答なし

【質問9】

貴施設・団体に実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	0	0.0%
2. 以下の条件	0	0.0%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

回答なし

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

回答なし

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

回答なし

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	0	0.0%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

⑩ 医療型障害児入所施設

発送数：4 回収数：0 回収率：0.0%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	0	0.0%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

回答なし

【質問2】

それはどのような内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	0	0.0%
2. 外部講師	0	0.0%
3. ボランティア	0	0.0%
4. その他	0	0.0%

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	0	0.0%
2. 週1回程度	0	0.0%
3. 月1回程度	0	0.0%
4. 3カ月に1回程度	0	0.0%

5. 半年に1回程度	0	0.0%
6. 1年に1回程度	0	0.0%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	0	0.0%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

回答なし

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%

13. その他	0	0.0%
---------	---	------

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

回答なし

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえらるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	0	0.0%
2. 希望しない	0	0.0%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

回答なし

【質問9】

貴施設・団体に実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	0	0.0%
2. 以下の条件	0	0.0%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

回答なし

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

回答なし

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

回答なし

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	0	0.0%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

⑪ 障害児地域訓練会

発送数：51 回収数：19 回収率：37.3%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	12	63.2%
2. ない	7	36.8%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

さつき会保育部に入って間もないため。

今年4月に訓練会に入会したばかりなので、まだ参加機会がないため。

水泳のグループなので。

スポーツクラブなので水泳の活動を行っている。文化芸術活動は文化部が活動している。

活動内容が就学前の子供を対象とした保育活動のため。

水泳教室のため。

【質問2】

それはどのような内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	9	75.0%
2. 版画	1	8.3%
3. 彫刻	1	8.3%
4. 書	6	50.0%
5. 音楽	9	75.0%
6. ダンス	3	25.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	4	33.3%
12. 陶芸	3	25.0%
13. その他	1	8.3%

生け花、和太鼓。

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	1	8.3%
2. 外部講師	10	83.3%
3. ボランティア	5	41.7%
4. その他	1	8.3%

(※○印は個人名、□は団体名)

親。

ボランティアの個人、体操クラブ。

個人の美術、太鼓、ダンス、書道の先生。

訓練会ではプール、体操、リトミックの活動を行っています。工作で個人講師として画家、陶芸を主とする方にご指導いただいています。

リトミックで個人講師として活動されている方にご指導いただいています。

□□（絵画）、その他は個人の先生にお願いしています。

〇〇さん（生け花）、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん（アトリエ）、〇〇さん（和太鼓）、〇〇さん（お茶）、〇〇さん（絵画）、〇〇さん（工作）、□□（リトミック）。

アート：〇〇先生、音楽ムーブメント：〇〇先生、音楽療法：〇〇先生、〇〇先生。

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	0	0.0%
2. 週1回程度	1	8.3%
3. 月1回程度	8	66.7%
4. 3カ月に1回程度	1	8.3%
5. 半年に1回程度	1	8.3%
6. 1年に1回程度	1	8.3%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	7	58.3%
2. ない	5	41.7%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

地域のお祭りや施設のディスプレイ。

区役所やラポール。

絵画展などの子どもの部。

鶴見区の区民文化祭。

横浜ラポールでの「ラポール美術展」（アトリエ）、地域イベントでの演奏（和太鼓）。

泉区福祉の作品展参加。

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	9	75.0%
2. 版画	1	8.3%
3. 彫刻	1	8.3%
4. 書	5	41.7%
5. 音楽	7	58.3%
6. ダンス	4	33.3%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%

10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	3	25.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	2	16.7%

生け花、和太鼓、茶道。

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	9	75.0%
2. 版画	1	8.3%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	5	41.7%
5. 音楽	11	91.7%
6. ダンス	8	66.7%
7. 演劇	1	8.3%
8. 伝統芸能	1	8.3%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	1	8.3%
11. 手工芸	3	25.0%
12. 陶芸	2	16.7%
13. その他	0	0.0%

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

幼児が対象のため、わかりやすく簡単に取り組めるものが良い。

子どもを対象にした活動ですので映像系はバス遠足時などとても楽しみにしています。女の子は絵を描くのが好きな子が多いです。静かな場が好きな子は書道にも取り組んでいます。

会員の多くはリトミックに参加していて、音楽や体を動かすことが好きです。工作に参加しているメンバーは現在2名ですが、講師が毎回、工作や絵画などその日のプログラムを楽しんでいます。

簡易なものから難しいものまで幅が広く、子どもたちの生涯に渡る趣味に適している。

ダンス：ダウン症の子ども達などは踊ることが好きなので。手工芸：母親の活動で時々、工作などをやっており、好きな方がいる。障害者の作成した織物や手芸品を集めたりしています。アート：子供たちが自由に色を塗ったり、紙をちぎったりを楽しむ。

子どもたちは体を動かしたりするのが好き。

就学前の子供たちなので好きそうなもので、できそうなもの。

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	6	50.0%
2. 希望しない	6	50.0%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

「する」さまざまな経験が余暇を充実させたり、自己を高めるためのとりかかりになると考えるため。

「する」毎週の訓練以外のことで色々経験させてあげたいので。

「する」内容によりメンバーで話し合い希望が多ければ色々新しいものもやってみれば良いと思います。

「する」負担金がなければ利用したいです。

「する」ボランティアの先生方を中心として活動しているので、相談が必要ですが、色々経験してもらいたいので内容によっては希望したいです。

「する」現在、書道の先生はいますのですがすぐではありませんが、高齢のためコロナ感染予防のためお休みをしていただくこともあり。ワクチンや感染者数の今後によっては年齢の若い先生をご紹介いただけたら助かります。

「しない」会員数減少のため活動ができない。

「しない」現状は会員数も減り、コロナ禍で活動日数も減っているため、指導者をお呼びする程ではないと思うから。

「しない」現在の先生で今は充分です。

「しない」会員が年々減少していて、講師やボランティアさんはいるものの、参加できる子どもがいないため。

「しない」既に外部講師に来ていただいているため。

【質問9】

貴施設・団体で実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	12	100.0%
2. 以下の条件	0	0.0%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

回答なし

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

回答なし

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

回答なし

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	7	100.0%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

⑫ 地域ケアプラザ

発送数：130 回収数：58 回収率：44.6%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	37	63.8%
2. ない	21	36.2%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

今まで取り組む機会がなかったから。

これまで検討してこなかった訳ではないのですが、障害者のみを対象とした事業へのニーズが得られていないこと。また、昨今のコロナ感染症対策から今後の事業の発展性も見いだせないこと等から、大変申し訳なく思いますが、本アンケートで有効な回答ができません。

共催団体が障害者を対象とした文化芸術活動（音楽活動）を行っており、その後方支援を行っているため、自主事業では行っていません。

理由はわかりませんが、今のところ取り組んだ実績は無いようです。

担当地区に障害者施設がない。急な坂道のためプラザに来館することが困難。

ケアプラザにて文化芸術活動を行っている団体の登録がなく、現状、取り組みまで至っていない。今後機会があれば検討を行っていきたい。

地域の方々と発達障害のあるお子様、児童向けの講座を開催したり相談を受け付けたりはしておりますが、文化芸術活動としては今のところ取り組んでおりません。

障害施設との複合館になっているため、そちらで担当することが多い。

団体への貸館は行っている。ある団体は楽器をコミュニケーションツールとして活用しているが、文化芸術活動に取り組むまでではない。

文化芸術活動ではないが障害のある方を対象にお出かけをしたり（水族館など）、食事をしたりする事業は今までに開催したことがあります。今、取り組んでいるものはありませんが、その理由は講師となるような先生とめぐり合えていない事が考えられると思います。また、障害といっても障害の種類、年代などが様々な事で、内容によってどの人が出られてどの人は出られないというような制限があり、お声かけして参加者を集めることさえも難しく感じています。

「障害の理解講座」「障害児保護者の集い」は定期的に行っていますが、文化芸術活動は開催したことはありません。事業として取り組んだことはありませんが、障害児サークルが当ケアプラザで余暇活動をされています。その際、ボランティアを募集したり後方支援を行っています。

需要があると思えない為。障害者の来館自体が少なく、ニーズ把握・調査が難しい。（来館されても作業所等のお散歩や休憩がほとんど）

障害児者の余暇活動の一環として、身体を動かすダンスや工作をする、絵を描くことはしたことがあるが、「文化芸術活動」と呼べるほどのものではなく、それに特化した企画を行う機会がなかったため。また、障害者に限定した企画ではなく、地域の方も含めて行うことが多かった。

障害者を対象とした自主事業（余暇支援、体操）はありますが、文化芸術活動は実施しにくい。文化・芸術を指導して下さる方がいない。

陶芸教室（障害児親子対象）、クラフトアートを開催しています。ただし、障害者のみの対象ではありません。どなたでもどうぞ。というスタンスで開催しています。

区内関係機関と共催した「こうほくなつとも」、ケアプラザ6館で共催した「こうほくからふる」（どちらも余暇支援事業）を開催してきましたが、文化・芸術活動を目的に行っていませんでした。

新しい事をやってみみたい気持ちはありますが、これまできっかけがなくとくに取り組んでいません。障

害者の余暇支援事業でカラオケやボッチャはしましたが、その他のニーズが今のところはありません。

【質問2】

それはどのような内容ですか。(複数回答可)

	回答数	割合
1. 絵画	15	40.5%
2. 版画	1	2.7%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	1	2.7%
5. 音楽	18	48.6%
6. ダンス	17	45.9%
7. 演劇	4	10.8%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	3	8.1%
10. 映像	1	2.7%
11. 手工芸	13	35.1%
12. 陶芸	3	8.1%
13. その他	8	21.6%

外出、レクリエーション、調理、工作、企画したすべての教室に受け入れている。フラダンス、アート作品、太鼓、クラフト各種。

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。(複数回答可)

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	16	43.2%
2. 外部講師	21	56.8%
3. ボランティア	22	59.5%
4. その他	3	8.1%

(※○印は個人名、□は団体名)

県立養護学校教師(ただし、公休日のボランティアとして)やOB、OG。記入者本人。記入者より個別に依頼した方(音楽療法士など)。ボランティアに関してはケアプラザを利用している団体のボランティア。

区市民活動センターボランティアバンクよりの選択。

○○先生。○○先生。

貸室団体の活動に携わる講師。

ケアプラザの自主事業(エアロビクス)の講師。ケアプラザを利用している団体のピアノの講師。

○○先生(音楽)、○○先生(ダンス)、□□(障害者対象に限定ではなく通常は高齢者向け活動団体)(手芸)

□□協会。

○○先生

□□(アート作品):○○先生、○○先生。アフリカンダンス:○○先生(フリーランスとして活動。障害者サークルでの指導、特別支援学校等、様々な場所でレッスン)

貸室団体をお願いしている方。

○○さんをお願いしています。いろいろなcraft(ペーパー、ワイヤー、食品サンプル、和紙ほか)の先生たちの集まるグループさんです。

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	0	0.0%
2. 週1回程度	0	0.0%
3. 月1回程度	17	45.9%
4. 3カ月に1回程度	4	10.8%
5. 半年に1回程度	6	16.2%
6. 1年に1回程度	9	24.3%
無回答	1	2.7%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	19	51.4%
2. ない	18	48.6%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどこですか。

障害者作業所アトスペース、ケアプラザのサービスB（横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業）で提携している「地域内カフェ」等。

廊下ギャラリー。

法人の所有する展示室。

施設内で展示。

廊下に設置しているギャラリー。イベント時の展示や販売等。サロンでの作品制作。

地域活動支援センター。

集いの場で似顔絵をその場で描く。（青葉区交流活動センター）

ケアプラザ祭り、地域の施設などで発表。

活動を通じ館内にて。

年に1回、区社会福祉協議会の施設にて実施される障害者の作品展等に出展（主催がどこかは不明）。

年1回開催の文化祭。

公的な文化祭など。

近隣の商業施設。

地域の作業所、高齢者施設と行っているアート展。

公演で作ったTシャツをロープで吊るし、お披露目をする場がありますが、ここ2年程できていない現状があります。その代わりに、パネルで参加団体の公共施設で展示をしています。

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	7	18.9%
2. 版画	1	2.7%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	1	2.7%
5. 音楽	11	29.7%
6. ダンス	8	21.6%

7. 演劇	2	5.4%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	2	5.4%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	9	24.3%
12. 陶芸	2	5.4%
13. その他	6	16.2%

フラダンス、アート作品、工作、太鼓、クラフト各種。

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	11	29.7%
2. 版画	1	2.7%
3. 彫刻	1	2.7%
4. 書	2	5.4%
5. 音楽	17	45.9%
6. ダンス	19	51.4%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	2	5.4%
11. 手工芸	10	27.0%
12. 陶芸	1	2.7%
13. その他	2	5.4%

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

セミプロ以上の演奏家によるため、参加者が拍手ボランティアとなってしまう事を避けているため。ただし、一般演奏レベルの方には発表会を提供します。

取り組みやすいのではないかと思います。

これまで実施してきた中で音楽やダンスは準備もしやすく、参加率が良かったため。

以前にダウン症のお子さんを対象にしたヒップホップダンスサークルが活動しているケアプラザに勤務していました。年齢の幅が広く対象者が参加できること、成果として発表でき親御さんや関係者の方にも楽しんで頂けるのでとてもやりがいがありました。

例としてカレーライスを作る。野菜の皮むきから切る。実際に包丁を使ってもらい自分たちで用意する。外出→ボランティアさんとペアになりバスに乗り遠出を体験する。

障害児余暇事業です。小中学生を対象にしているため。

作業所で作った作品を当施設で委託販売している。（キーホルダー、ポーチ、石鹸、しおり等）。作業所利用者が貸館利用の際、音楽をかけて歌を歌ったり、フラダンスを踊ったりしている。発達障害の子供たちの楽器演奏による音楽療法のサークルや手話ダンスサークル等が団体登録していて当施設のイベントでステージ発表のボランティアをお願いしたこともあります。

ダウン症児→踊り、音楽に興味があるということでダウン症児グループにダンス講師を紹介した（ヒップホップ）。折り紙や紙を使った工作に興味を持たれた事例があった。

これから初めて行うのでわかりませんが、障害児者を対象として「心魂プロジェクト」のデリバリーパフォーマンスのオンラインイベントを行う。

現在、別団体より協力の要請があるため。

楽しい。集中できる。

直接歌ったり踊ったりできない方も、輪の中にいるだけで楽しめる。

ダンス：障害者の方たち対象のフットサルを行っていますが、その中で数名ダンスに興味がある。

描かれている絵がとても魅力的である。

開催時のお問合せの多さ。

絵を描く事、工作を作るなど創作活動が好きようです。

音楽に合わせて体を動かすことが好き。

現在、内容についてのニーズが把握できていないため、幅広く興味があります。

興味がある。

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえらるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	23	62.2%
2. 希望しない	13	35.1%
無回答	1	2.7%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

「する」記入者はコーディネーターのため、本来業務として人と人、人と社会資源をつなぐ役割に徹し、指導者は自分ではなく、できれば他者に協力（つなぎたい）して頂きたいと感じているため。

「する」今後開催する時に情報があれば、内容の幅が広がるのではないかと思います。

「する」隣接している活動ホームとの協働事業として実施がしやすい。地域ケアプラザで登録している団体の多くは高齢者や子ども対象であるため、障害を対象にしたボランティアや指導者が少ないため。

「する」実施を検討するタイミングがあれば相談できたら有難いと思います。

「する」専門の先生を迎えることで子どもの可能性を引き出す機会が多くなると思うため（考えるため）。

「する」専門的な知識のある指導者に適切な関わりを通し、障害者も生き活きとしてほしいため。

「する」内容によって希望する。

「する」隣接するそよかぜの家利用者がレクのような余暇支援をして欲しいということでボッチャなどを行おうとしたがコロナ禍のため企画で終わった。

「する」謝金等の費用にもよりますが、企画がマンネリ化してしまうため、新しいものを取り入れたい。

「する」内容によるがニーズがあれば実施したいから。

「する」多くの方に教えてもらえることは大切だと考える。

「する」障害を理解した指導者を希望する。地域の中に発掘できていない。

「する」音楽やダンスに興味のある参加者が多いのですが、参加者の中心が20代で若い人向けのプログラムを考えるのが現講師には負担と感ずることもあるそうです。

「する」日時、内容、費用によります。

「する」障害の方の余暇活動は求められているが、実際にできている内容に限りがあるため希望しません。

「する」障害児余暇支援事業を行う際に派遣していただきたい。

「しない」当ケアプラザの事業として講座の企画を行います。

「しない」コロナ禍において障害者関係の活動が休止しているので。

「しない」理由としては、いつ再開可能になるのか先が見えない為。前任者が異動にて不在となり、まずは残った者が初心者ですので、ある程度、経験と勉強を重ねたいと考えるため。

- 「しない」人数が少ないため（2～3人）
- 「しない」障害に対する専門スキルに日常的に特化しているわけではないため。
- 「しない」どのような指導者なのか？どんな内容のものかが不明なのでわかりません。
- 「しない」ケアプラザで探すことのできる範囲外の出会いをしたい。
- 「しない」お伺いをしないと（内容やスケジュール他）わからない。
- 「しない」年間での予定が決めやすい。活動内容の融通のききやすさ。
- 「しない」今のところ、平田先生の指導でとてもうまくいっているから。
- 「しない」今は特に必要としない。
- 「しない」現状でそこまでのニーズを（人数や窓口での問い合わせなどで）感じられないため。

【質問9】

貴施設・団体で実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	12	32.4%
2. 以下の条件	23	62.2%
無回答	2	5.4%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

赤ちゃん連れの親もチックなどや付随運動の激しい方もバギーの方もそのまま入室いただきます。演者と参加者には毎回ご了承もとります。

障害のある方のみを対象とはしておりません。地域全般。

以前開催していた条件は、小中高生まで。親子参加が条件です。

障害児や家族等。

地域ケアプラザエリア内在住。鶴見区在住の方。

特に条件はない。

小中学生、個別支援、特別支援学校に通うお子さん。

地域住民の方。

登録したことがある方。自主事業に参加したことがある方。

地域の方（鶴見区）。

高齢者と同時に中学生以上の障害児者対象で工作の講座を募集している。

旭区にお住まいで中途障害の方。

中途障害のある方。

その時に応じて変わります。

6～8歳位の障害児（ダウン症）と保護者。

障害のあるお子さん、成人、その家族。

10～20代の学校を卒業し就労中もしくは就労を目指している知的・発達・精神等の障害のある方で、一人で参加できる方、瀬谷区在住・在勤の方（1年目はどなたでもでしたが現在は地区を限定しています。）

ケアプラザの担当エリア都筑区在住の方。※区外の間合せにも柔軟に対応している。

ケアプラザに来所できる方。

原則、南区在住の知的障害がある小学生から高校生。

小学生対象（兄弟児も可）アート作品。自閉症、発達障害のある小学生～成人（アフリカンダンス）

個別支援級、特別支援学校に通う小中学生。

クラフト：どなたでも大丈夫です。おひとりで参加、制作が難しい場合は、どなたか付添をお願いしています。陶芸：障害児とその家族。

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

（※○印は個人名、□は団体名）

本人許可がないため控えさせていただきます。必要な時には個別にお伝えできればと存じます。

□□。

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

回答なし

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	3	14.3%
2. ない	18	85.7%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	1	33.3%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	1	33.3%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	1	33.3%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

障害がある方やその家族への理解・啓発のため、地域向けに写真展を行います。

このアンケートをきっかけに検討していきたいと思います。コロナ後はまだ内容は決まっていませんが行っていく予定です。

いいアイデアやイベントなどがあればやってみたいという気持ちはあります。

予定は今のところありませんが、音楽活動を検討してみたいと思っています。

⑬ 地域子育て支援拠点

発送数：24 回収数：6 回収率：25.0%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	6	100.0%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

子育て支援拠点のため、子育て中の親子を対象としている。

広く子育て家庭を対象とした施設なので敢えて「障害者の方を対象とした」文化芸術活動をピックアップして企画したことはありませんが、日常的に制作活動やミニコンサートのような音楽関係のイベントを実施しており、そちらの方へも障害者の方も分け隔てなくご参加いただけます。

障害のある方も参加できるプログラムは実施しておりますが、特化したものではありません。限られた設備・予算の中で事業目的に合った取り組みを中心に行っています。

障害者を対象としたピアサポート活動は実施していますが、文化芸術活動の分野は実施しておりません。

【質問2】

それはどのような内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	0	0.0%
2. 外部講師	0	0.0%
3. ボランティア	0	0.0%
4. その他	0	0.0%

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	0	0.0%
2. 週1回程度	0	0.0%
3. 月1回程度	0	0.0%
4. 3カ月に1回程度	0	0.0%
5. 半年に1回程度	0	0.0%
6. 1年に1回程度	0	0.0%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	0	0.0%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

回答なし

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%

5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

回答なし

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	0	0.0%
2. 希望しない	0	0.0%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

回答なし

【質問9】

貴施設・団体に実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	0	0.0%
2. 以下の条件	0	0.0%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

回答なし

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

回答なし

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

回答なし

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	6	100.0%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%

⑭ 地区センター

発送数：81 回収数：39 回収率：48.1%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	7	17.9%
2. ない	32	82.1%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

残念ながら当施設にはまだ障害者を対象とした活動・事業を実施するためのノウハウが備わっていないため。

講師となってくれる人をどのように見つけたらいいかわからない。そのうえで、参加者の募集をどのように行ったらいいかわからない。

当館主催のものはありません。福祉ホームさんの感謝祭では当館をご利用いただいています。近隣の小学校3校、中学校1校、支援学校の5校の生徒の作品展は年に1回開催しています。（小・中は支援級生徒）

現在、当センターの貸し部屋の大部分は2階にありますが、多目的トイレは1階の1か所にしか設置されておりません。またエレベーターは平成元年の開館後33年が経過していますが、未更新のため、障害を持つ方の利用には安全の確保が不十分な状態といえます。1階体育室側も多目的トイレが設置されておらず、更衣室や一般トイレも狭く、一部バリアフリー化されておりません。今後も拡張は難しいと考えられます。上記理由のため現時点では障害を持つ方を対象とした文化芸術活動に取り組むことが困難となっております。

特に障害者に限定した活動は行っていないが、館主催事業などへの参加については要望があれば前向きに検討する。

参加者を集める方法が分からない。障害のある参加者への合理的配慮が十分できるような設備、職員の研修などが不十分。貴施設などの研修を受講したい。

当館は地域住民の交流を目的とする施設ですが、現在のところ、特に障害者対象、健常者対象と分けて講座・イベント等の活動をしていないため。障害等のお申し出があった場合は、その内容を伺い、都度、講座・イベント等への参加可否を検討させていただいております。

きっかけがありませんでした。

地区センターは広く地域住民にご利用いただく施設であるため、障害者に特化した事業を企画することがなかった。

地区センターを管理運営しておりますので、誰でもが参加できるイベント等は開催しております。障害者の方も楽しく参加されています。地域の誰でもが利用できる地区センターですので、障害者だけを対象とした活動は行っておりません。

当センターは地域住民が自らの生活環境向上の為に自主的に活動し、スポーツやレクリエーション等を通じて相互理解を深めることを目的に設置されている。よって障害者を対象としている訳ではない。

これまでそのような機会がなかったため。

専門の対応が可能な職員がいないため、文化芸術活動は企画、実施をしておりません。会場提供については実績があります。

ニーズが不明。ノウハウがない。

館が主体となって取り組んでいる活動はありませんが、障害児者を支援する各団体の活動場所として使われています。

令和元年度から指定管理者として運営に携わるようになったばかりで、まだ標記活動は取り組む機会が

ありませんでした。

ニーズを調べていない。通常の利用者アンケートでも要望がなかった。イベント等において「障害者」を区別していない。

障害の有無に関わらずご利用いただいております。

地域ケアプラザと併設館であり、福祉系の企画は地域ケアプラザが主として行っている。地区センターでは自主活動団体に障害者の方がおりセンター祭りで当該団体の作品展示に障害者の方の作品が含まれている場合はある。

障害者施設によるパン販売の場所を提供しております。また、複合施設（知的障害）のご利用者と一般公募の方と一緒に環境保全のための「緑のカーテンを作ろう」と題してゴーヤの植え付けを行ったりもしています。他にも「つたのはさんと長津田探訪&クリーン作戦」として合同で歴史ある場所や建築物を訪ねながら町のゴミを収集する活動もあります。更に体育館も優先的に障害者施設へ貸出対応もいたしておりますが、「文化芸術活動」に対しては対応できておりません。

当施設は地域住民の交流推進の場として、スポーツや文化活動を支援しております。現在でも活動団体（内容）によっては、障害のある方の参加もありますし、中途障害者リハビリ活動団体等にも当施設を利用していただいております。しかし、当施設として専門的な経験もノウハウもない中で、障害者を対象に特化した事業を行うことは考えておりません。

お話しがあれば協力していきたいと思います。

来館者の公平性を保つため、障害者のみを対象とはしない。

【質問2】

それはどのような内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	1	14.3%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	3	42.9%
6. ダンス	2	28.6%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	1	14.3%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	4	57.1%

パン作り、運動会、工作、まつり（夏、餅つき）芸能人コンサート共催、軽度障害児の体操教室、体育館優先減免。ボッチャ。

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	1	14.3%
2. 外部講師	4	57.1%
3. ボランティア	4	57.1%
4. その他	1	14.3%

（※○印は個人名、□は団体名）

フラダンスサークル。NPO法人□□。

障害のある方のためのダンス教室～ヒップホップを楽しもう～でインストラクターをお願いした○○さん。

隣接の地域作業所の芸能人コンサート体育館貸出、共催。地域と地区センター、ケアプラザ、町内会主催の夏祭り、餅つき。軽度障害児童（地域作業関連）体育館優先減免貸出。障害者パドルテニス。

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	0	0.0%
2. 週1回程度	0	0.0%
3. 月1回程度	1	14.3%
4. 3カ月に1回程度	2	28.6%
5. 半年に1回程度	1	14.3%
6. 1年に1回程度	3	42.9%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	4	57.1%
2. ない	3	42.9%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

地区センター祭りのサークル活動発表の場。

1階ロビー（自己施設）。

当施設館内のラウンジ、レストラン、客室、廊下等に絵画や写真を飾ることができます。

公会堂ロビー（イベント時）、現在はコロナ禍のため中止。

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	1	14.3%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	3	42.9%
6. ダンス	2	28.6%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	1	14.3%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	3	42.9%

パン作り、運動会、工作、ボッチャ。

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	1	14.3%
2. 版画	0	0.0%

3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	3	42.9%
6. ダンス	1	14.3%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	1	14.3%

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

特にジャンルは問いません。

音楽やダンスが大好きで楽しい。たくさん踊りたい。年2回はダンス教室をやってほしい。

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	4	57.1%
2. 希望しない	3	42.9%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

「する」地域交流のため。

「する」自主事業として行う場合の講師の派遣を希望する。

「する」障害のある方をよく理解された指導者だと安心です。

「する」作品展示やセンター祭りなどでのゲストなどでの発表などでしたら機会があればと思いますが、今まで経験が無いのでどんな感じなのでしょう。

「しない」まにあっている。

【質問9】

貴施設・団体で実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	2	28.6%
2. 以下の条件	3	42.9%
無回答	2	28.6%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

横浜市内在住の障害のある方。

聴覚障害者。

障害者福祉事業のため（横浜訓盲学院の）視覚障害児とその保護者。

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

回答なし

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

回答なし

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	5	15.6%
2. ない	27	84.4%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	3	50.0%
2. 版画	1	16.7%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	3	50.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	1	16.7%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	2	33.3%
12. 陶芸	2	33.3%
13. その他	3	50.0%

障害者との交流事業。地域のスポーツ、特にミニバスケットの試合など体育室の利用に関する問合せが増えている。

実施したい気持ちはありますが、企画や準備の面で課題をクリアすることができません。

芸術ではありませんが、車いすバスケ、ボッチャを検討の予定です。昨年コロナで中止になりました。

今後、施設・設備の安全確保のための助成・援助等があれば検討したいと考えております。

⑮ 市内文化施設

発送数：32 回収数：15 回収率：46.9%

【質問1】

貴施設・団体において、「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組んだことがありますか。

	回答数	割合
1. ある	10	66.7%
2. ない	5	33.3%

【質問1-2】

「ない」と回答された場合、その理由を教えてください。

バリアフリーが完全でないため。

施設として受入れ体制・設備が整っていないと感じるため。

別所属（神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター、障害福祉課、共生推進本部室）で取り組んでいるため。

通常より講演会などの行事に障害者の参加の区別を設けていないため、年間を通じて利用者があるが、障害者限定のイベントは特別には開催していない。（機会がない）。

予算が取れない。指定管理料が低いのでやりたくてもできない。

養護学校のアウトリーチ。オープンシアター。

【質問2】

それはどのような内容ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	3	30.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	3	30.0%
6. ダンス	4	40.0%
7. 演劇	5	50.0%
8. 伝統芸能	1	10.0%
9. 写真	1	10.0%
10. 映像	3	30.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	7	70.0%

ウエルカムギャラリー（作品展示）。

現代アート、手話講座。

1.9→視覚障害のある方とない方を対象とした対話型鑑賞会。1.6→市内小学校へのアウトリーチ事業で個別支援学級を対象に授業実施。その他→絵の具、粘土、紙を素材とした造形体験（事業名：親子で造形ピクニック）。

ワークショップ。

【質問3】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」に取り組む際に指導する人は誰ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 施設・団体の職員	6	60.0%
2. 外部講師	7	70.0%
3. ボランティア	0	0.0%
4. その他	1	10.0%

（※○印は個人名、□は団体名）

施設見学会などは職員がガイドをつとめていますが、能楽師などの実演家を講師に迎えてワークショップ等を行う事もあります。

打楽器奏者。

□□（手話演劇グループ）

○○氏（当館HP、アーティストアーカイブに情報掲載しています）。

文化支援パートナー。

□□。

【質問4】

「障害者を対象とした文化・芸術活動」はどのくらいの頻度で実施していますか。

	回答数	割合
1. 毎日	0	0.0%
2. 週1回程度	0	0.0%
3. 月1回程度	1	10.0%
4. 3カ月に1回程度	4	40.0%
5. 半年に1回程度	1	10.0%
6. 1年に1回程度	3	30.0%
無回答	1	10.0%

【質問5】

障害者が制作した作品等を貴施設・団体以外で発表する場がありますか。

	回答数	割合
1. ある	7	70.0%
2. ない	3	30.0%

【質問5-2】

「1. ある」の回答の場合、その場所はどんな所ですか。

ギャラリー。

普及公演「バリアフリー能」のチラシのメインビジュアルに知的障害の方によるイメージ画を使用しています。

ウエルカムギャラリーという作品スペースがあり、そちらに作品提供のお願いをしている。

当財団が発表のために借りた会場。昨年度からは映像作品としてWEB上で発表。

近隣文化施設内の展示可能コーナー。

【質問6】

令和3年度以降も、継続して実施予定の「障害者を対象とした文化・芸術活動」はありますか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	5	50.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%

5. 音楽	4	40.0%
6. ダンス	4	40.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	2	20.0%
9. 写真	1	10.0%
10. 映像	3	30.0%
11. 手工芸	3	30.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	2	20.0%

イラスト提供、「親子で造形ピクニック」。

【質問7】

貴施設・団体の利用者が興味のある「障害者を対象とした文化・芸術活動」を教えてください。（複数回答可）

	回答数	割合
1. 絵画	7	70.0%
2. 版画	4	40.0%
3. 彫刻	3	30.0%
4. 書	3	30.0%
5. 音楽	5	50.0%
6. ダンス	5	50.0%
7. 演劇	4	40.0%
8. 伝統芸能	4	40.0%
9. 写真	4	40.0%
10. 映像	4	40.0%
11. 手工芸	4	40.0%
12. 陶芸	3	30.0%
13. その他	0	0.0%

【質問7-2】

好きな理由など、わかる範囲で結構ですので教えてください。

地域のNPOの活動や施設訪問をした際に感じた内容です。

どうしたらより興味を持っていただけるのか、楽しんでいただけるのか、当館も知りたいと思っています。

アートギャラリー、ホール等の施設があるので。

3館では、あらゆるジャンルの芸術活動の場を提供しているため、その利用者の方も様々な分野に興味を持っていると考える。

手話などに興味がある利用者がいるため。

基本的な素材に触れる体験は、障害の有無や年齢に関わらずそれぞれの楽しみ方ができる。また、学校や家など居場所が固定しがちな障害のある子どもとそのご家族がこの時間を通してもう一つの居心地の良い場所を得るのに有効な活動であると考えているから。

【質問8】

貴施設・団体に「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者を派遣してもらえらるなら、その派遣を希望しますか。

	回答数	割合
1. 希望する	9	90.0%
2. 希望しない	1	10.0%

【質問8-2】

「希望する」もしくは「希望しない」の理由を教えてください。

「する」ソーシャルインクルージョンの仕組みの中で活動の幅を広げていきたいため。

「する」現時点では具体的なプランはありませんが、必要になった際に相談できるところがあると有難いです。

「する」ハード面及びソフト面など、障害者の方のニーズや、配慮すべき事項などについてご指導をいただきたい。

「する」職員の研修などでの希望。

「する」指導者がいないため。

「する」当館でのノウハウ以外に、新しい見地や手法を吸収したい。

「する」私どもが取り組んでいる文化事業はイベント企画から日常的な情報交換、相談、協力には「文化支援パートナーズ」という区内の個人、団体、施設などのネットワークを形成しています。ソーシャルインクルージョン推進の事業でも、この文化支援パートナーズと実施していく方針です。

【質問9】

貴施設・団体で実施している「障害者を対象とした文化・芸術活動」に参加できる対象者は誰ですか。

	回答数	割合
1. 施設・団体利用者のみ	1	10.0%
2. 以下の条件	7	70.0%
無回答	2	20.0%

【質問9-2】

条件の内容は何ですか。

すべての人。

館の設備的な制約により、対象者は限定される。

公演の来場者のため特に条件はない。

「親子でピクニック」個別支援学級、特別支援学校等に通う子どもとその保護者、きょうだい各日5家族程度。「あざみ野学校プログラム（仮）」学校単位での個別支援学級、特別支援学校に対する団体の造形体験（年間10校程度。原則、横浜市北部対象。令和4年度から募集情報公開予定）

【質問10】

「質問3」の回答以外で、「障害者を対象とした文化・芸術活動」の指導者（個人・団体）をご存じでしたら教えてください。

回答なし

【質問11】

当センターが障害者の絵画などの個展を企画した場合、推薦したい障害者アーティストが貴施設・団体関係者にいらっしゃれば、是非、ご紹介ください。

回答なし

【質問12】

「質問1」で「ない」と回答した方にお伺いします。今後、「障害者を対象とした文化・芸術活動」を実施する予定はありますか。

	回答数	割合
1. ある	0	0.0%
2. ない	5	100.0%

【質問12-2】

「1. ある」と回答した方に伺います。その、内容はどんな内容ですか

	回答数	割合
1. 絵画	0	0.0%
2. 版画	0	0.0%
3. 彫刻	0	0.0%
4. 書	0	0.0%
5. 音楽	0	0.0%
6. ダンス	0	0.0%
7. 演劇	0	0.0%
8. 伝統芸能	0	0.0%
9. 写真	0	0.0%
10. 映像	0	0.0%
11. 手工芸	0	0.0%
12. 陶芸	0	0.0%
13. その他	0	0.0%